

2008年度

秋田県立近代美術館年報

Akita Museum of Modern Art Annual Report, 2008

目 次	
沿 革	2
美術館の事業紹介	3
2008(平成 20)年度事業一覧	5
展示事業	
企画展	
生誕 100 年斎藤清展	7
宮城県美術館所蔵名品展	11
南極発！ペンギンからのメッセージ！！	13
横山津恵展	15
日本画の時代展	17
福田豊四郎のデッサン力展	19
コレクション展	23
教育普及事業	
美術館教室・ワークショップ	28
ミュージアム・コンサート	32
美術館講座・美術講演会	33
ボランティア活動・博物館実習	34
ハイビジョンソフト制作	35
移動展	36
ネットワーク事業	37
セカンドスクールの利用	38
収集事業	
美術品収集	40
図書資料	41
美術品保存・修復	42
調査・研究業績	43
美術品貸し出し	44
刊行物	45
入館状況	46
組 織	47
建築・設備概要	48
関係法規	49
館内図	51
利用・交通案内	53

沿 革

1988(昭和 63)年	11 月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本構想策定
1989(平成 1)年	5 月	秋田郷土美術館(仮称)建設基本構想策定
	12 月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本計画策定
1990(平成 2)年		文化課に新美術館建設準備担当設置
	6 月	用地取得・造成工事着手
1991(平成 3)年	6 月	美術館建設工事着手
1993(平成 5)年	6 月	美術館建設工事完成
1994(平成 6)年	4 月 20 日	開館
1997(平成 9)年	10 月 2 日	天皇・皇后両陛下下行幸啓
1999(平成 11)年	4 月	秋田ふるさと村入村料無料化
2001(平成 13)年	1 月	展示室以外の館内無料化
	9 月 26 日	入館者数 1,000,000 人を達成
2007(平成 19)年	10 月	入館者数 1,500,000 人を達成

美術館の事業

◆ 展 示

企画展

美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を対象に特色あるテーマをもった展覧会を開催します。

コレクション展

当館所蔵作品を年4～6回の展示替えを行いながら、常時公開するものです。

Exhibition

Permanent Exhibition

A portion of our collection is regularly displayed and each is rotated every few months.

Special Exhibition

Under a unique theme, displays of native and foreign artwork are displayed in cooperation with other museums and organizations.

◆ 収 集

近代以降の優れた美術作品を中心に、近・現代美術の思潮をたどるうえで必要な作品や資料を収集します。

- ① 秋田蘭画・初期洋風画作品及び資料
- ② 近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③ 日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④ 当館の収集作品としてふさわしい内外の美術作品や資料

Purchasing Activities

In order to follow the current trends in modern and present day thought in fine art, our collection of fine works concentrates mostly on the postmodern era as described below.

- ① The Akita School of Ranga paintings, early western style paintings in Japan, and the materials associated with these works.
- ② The fine art work of modern artists who are closely connected to, or are from Akita Prefecture, and related materials.
- ③ Works which teach us about the current thought in Japanese fine art, and the materials associated with these works.
- ④ Other native and foreign works which are of great substance, and the materials associated with them.

◆ 保存管理

優れた美術作品の散逸・損傷・亡失を防ぎ、後世に伝えるため、調査研究を行い、良好な環境の中で保存します。

Preservation

We have preserved all of the fine works in the best condition possible in order to prevent them from being scattered, damaged or lost.

We wish to continually improve our research and hand down these collections to future generations.

◆調査研究

本館の各種事業の充実を図るため、その基礎となる次のような調査研究活動を行います。

- ①収蔵品に関する調査研究
- ②秋田県の近・現代美術に関する調査
- ③保存・管理、教育普及活動、展示活動、創作に関する調査研究
- ④その他の調査

Research Activities

We are constantly researching in order to increase our knowledge and to improve the museum's collections.

- ① Permanent collection.
- ② Modern and fine art from Akita Prefecture.
- ③ Topics relating to the creation,exhibition and preservation of art,as well as the contribution of fine art to education.
- ④ Other research.

◆広報出版

県民に親しまれる芸術文化活動の拠点として、種々の印刷物の刊行やマスメディアとの連携等により、美術館事業に関する情報を提供します。

Publicity Works Activities

As a center of art and cultural activity for People in Akita,we provide information about museum operations through pamphlets and the mass media.

◆教育普及

誰でもが気軽に利用できる美術館を目指し、展示活動を始め、講演会・美術館講座・実技講座等様々な事業を行います。また、美術館ボランティアAMC(アムック)との連携により、より積極的な普及活動を行います。

Educational Activities

In cooperation with the museum volunteer group(AMC),we hold various lectures,seminars and workshops.

2008(平成20)年度事業一覧

月／事業	企 画 展	コレクション展	講演会・コンサート・移動展ほか
2008	3/8(土)-4/20(日) 『女流陶芸 in AKITA』展	1/25-4/13 美術館の眼Ⅳ	
4			
5	4月26日(土)-6月15日(日) 生誕100年斎藤清展ー心しみじみー	4月16日(水)-7月13日(日) ピックアップアーティスト 「関谷四郎」	
6			6/1(日) 「斎藤清展」開催記念 なごみのヴィオラコンサート 出演：坂本洋子(ヴィオラ)、西村智子(ピアノ)
7	6月21日(土)-8月24日(日) 宮城県美術館所蔵名作選 「近代洋画の軌跡」		7/13(日) 「宮城県美術館所蔵名作選」記念講演会 講師：西村勇晴(宮城県美術館副館長)
8		7月16日(水)-10月13日(月) ピックアップアーティスト 「金沢秀之助」	8/14(木) ファミリーコンサート in びじゅつかん 出演：松渕啓子(クラリネット) 稲村洋之(ピアノ)
9	8月30日(土)-9月28日(日) 南極発! ピンゲーからのメッセー ジ!! PINQU the Art World 環境が学べるアート展		9/20(土)-28(日) きて、みて、美術館!! 秋田県立近代美術館名品展 鹿角市花輪市民センター
10			10/5(日) 「横山津恵展」記念講演・座談会 「秋田の作家と『院展』」 講師：田中日佐夫(秋田県立近代美術館名誉館長) パネラー：恵花会のみなさん
11	10月4日(土)-11月9日(日) 郷土作家シリーズⅩ 横山津恵展	10月16日(木)-1月12日(月) ピックアップアーティスト 「峯田敏郎」	10/25(土) 聖霊高校ハンドベル部 ミュージアムで、ふれあいコンサート
12	11月15日(土)-2月1日(日) 日本画の時代展		11/11(火)-13(木) 出前セカンドスクール 北秋田市立鷹巣小学校、北秋田市立前田小学校
	12/29(水)~31(金)	年末休館	12/21(日) 日本画の見方&お宝拝見 講師：河野元昭(秋田県立近代美術館館長)
2009			
1	同上	同上	
	1/13(火)~22(木)	メンテナンス休館	
2	同上		
3	2月7日(土)-4月19日(日) 福田豊四郎のデッサンカ	1月23日(金)-4月5日(日) ピックアップアーティスト 「伊藤彌太」	

『平安前期の美術』 講師：河野元昭 (秋田県立近代美術館長)	4月27日(日) 年中行事親子美術教室Ⅰ こいのぼりをつくっちゃおう!	2008 4
	5月24日(土)、5月25日(日) 6月8日(日)、6月15日(日) 一般美術教室 ムッシュRの絵画教室 佐々木良三(秋田大学名誉教授・国画会会員)	5
	5/25(日) 1. 新薬師寺薬師如来坐像と神護寺薬師如来立像	6
	6/22(日) 2. 東寺講堂諸像	7
	7/27(日) 3. 観心寺如意輪観音菩薩坐像と 法華寺十一面観音菩薩立像	8
	8月30日(土) 8月31日(日) 9月15日(月) 親子でワークショップ ピンゲーねんど教室	9
	9月7日(日) 一般美術教室 彫刻教室 レリーフをつくろう 講師：峯田敏郎氏(彫刻家・国画会会員)	10
	10月19日(日) 12月14日(日) 横山津恵展 ワークショップ-花を描く-	11
	10/19(日) 4. 勝常寺薬師如来坐像と黒石寺薬師如来坐像	12
	11/16(日) 5. 薬師寺八幡三神坐像と熊野速玉大神坐像	2009
	12月7日(日) 年中行事親子美術教室Ⅱ クリスマスオーナメントをつくっちゃおう!	1
	12月21日(日) 日本画の見方&お宝拝見	2
1/25(日) 6. 伝真言院曼荼羅と高雄曼荼羅	1月12日(月) 年中行事親子美術教室Ⅲ 鬼のお面をつくろう!	3
2/22(日) 7. 西大寺十二天像と園城寺黄不動像	3月8日(日) 3月15日(日) 福田豊四郎のデッサン力展ワークショップ デッサン教室	
3/8(日) 8. 東寺真言七祖像と請来宋仏画		

展示事業 企画展

i. 生誕100年斎藤清展

会 期： 2008(平成20)年4月26日(土)～6月15日(日)

主 催： 秋田県立近代美術館

担 当： 山本丈志

生誕100年を迎えた版画家斎藤清の全貌を福島県立美術館の収蔵品を中心にした巡回展である。当館が最終展となった。《古都》《会津の冬》シリーズをはじめとして、ユーモラスな《猫》などの代表作により、初期から晩年まで作品を一堂に紹介した。



No.	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横)cm	ed	所蔵先
1.	少女	1936	紙・木版	24.5 × 18.2	—	福島県立美術館
2.	子供	1937	紙・木版	36.1 × 27.0	—	福島県立美術館
3.	郷の稚児	1938	紙・木版	36.0 × 27.8	—	福島県立美術館
4.	会津の冬(窪)	1938-40 頃	紙・木版	40.0 × 45.5	—	福島県立美術館
5.	会津の冬(御母堂)	1938-40 頃	紙・木版	38.0 × 45.0	—	福島県立美術館
6.	会津の冬(坂下)	1938-40 頃	紙・木版	38.0 × 45.6	—	福島県立美術館
7.	鏡	1938 頃	紙・木版	26.4 × 16.5	—	福島県立美術館
8.	鏡(自画像)	1938 頃	紙・木版	36.1 × 29.0	—	福島県立美術館
9.	北海の魚市	1939 頃	紙・木版	18.0 × 23.6	—	福島県立美術館
10.	選炭	1942	紙・木版	45.1 × 53.0	—	福島県立美術館
11.	赤い花	1948	紙・木版	41.1 × 66.5	13/30	福島県立美術館
12.	凝視(猫)	1948	紙・木版	75.4 × 41.6	番外 4/4	福島県立美術館
13.	椿	1948	紙・木版	60.0 × 44.3	14/30	福島県立美術館
14.	港・小樽	1948	紙・木版	39.2 × 52.8	1/50	福島県立美術館
15.	ミルク	1948	紙・木版	36.6 × 29.8	30/50	福島県立美術館
16.	みろく	1948	紙・木版	50.3 × 29.1	34/50	福島県立美術館
17.	赤い実	1950	紙・木版	60.5 × 45.6	A.P.	福島県立美術館
18.	凝視(花)	1950	紙・木版	60.0 × 41.1	8/30	福島県立美術館
19.	直子	1950	紙・木版	75.3 × 41.3	14/30	福島県立美術館
20.	ヌード	1950	紙・木版	75.3 × 41.2	13/30	福島県立美術館
21.	ヌード(B)	1950	紙・木版	75.9 × 41.5	13/30	福島県立美術館
22.	無我	1950	紙・木版	75.4 × 42.0	3/30	福島県立美術館
23.	凝視	1952	紙・木版	41.7 × 66.6	1/30	福島県立美術館
24.	凝視(二匹の猫)	1952	紙・木版	60.6 × 45.3	A.P.	福島県立美術館
25.	ジェラシー	1952	紙・木版	75.4 × 46.2	—	福島県立美術館
26.	土器(A)	1952	紙・木版	43.7 × 75.9	A.P.	福島県立美術館
27.	会津の冬(B)	1953	紙・木版	39.3 × 54.5	—	福島県立美術館
28.	ハニワ	1953	紙・木版	103.2 × 139.4(二曲一隻)	—	福島県立美術館
29.	土器とハニワ	1954	紙・木版	60.3 × 60.3	—	福島県立美術館
30.	仏陀・飛鳥(A)	1954	紙・木版	75.9 × 45.1	試作	福島県立美術館
31.	支那寺、長崎	1955	紙・木版	51.6 × 81.7	21/40	福島県立美術館
32.	門(支那寺)、長崎	1955	紙・木版	92.5 × 148.5(二曲一隻)	—	福島県立美術館

No.	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横)cm	ed	所蔵先
33.	館	1955	紙・木版	51.0 × 81.2	10/50	福島県立美術館
34.	雨のミシガン	1956	紙・木版	52.8 × 38.8	66/75	福島県立美術館
35.	憩い、メキシコ	1956	紙・木版	53.1 × 38.8	13/75	福島県立美術館
36.	石庭	1956	紙・木版	88.1 × 149.3(二曲一隻)	—	福島県立美術館
37.	野良犬、メキシコ	1956	紙・木版	38.6 × 53.4	14/75	福島県立美術館
38.	白磁	1957	紙・木版	44.7 × 60.1	19/80	福島県立美術館
39.	会津の冬	1958	紙・木版	39.2 × 53.4	—	福島県立美術館
40.	唐招提寺、奈良(B)	1959	紙・木版	43.7 × 60.0	80/80	福島県立美術館
41.	唐招提寺 奈良(D)	1959	紙・木版	60.2 × 45.1	9/80	福島県立美術館
42.	土偶	1959	紙・木版	120.8 × 148.6(二曲一隻)	—	福島県立美術館
43.	仏陀、阿修羅、奈良(A)	1959	紙・木版	75.2 × 44.5	68/70	福島県立美術館
44.	仏陀、阿修羅(C)	1959	紙・木版	45.0 × 60.3	46/100	福島県立美術館
45.	マンジュシャゲ・プロフィール	1959	紙・木版	75.5 × 44.5	80/80	福島県立美術館
46.	憩い、パリ	1960	紙・木版	52.0 × 37.8	13/120	福島県立美術館
47.	教会、フランス	1960	紙・木版	51.7 × 37.9	2/120	福島県立美術館
48.	凝視、モデル、パリ(A)	1960	紙・木版	51.7 × 37.9	2/120	福島県立美術館
49.	京都の壁	1960	紙・木版	48.6 × 79.1	A.P.	福島県立美術館
50.	ショッピングガール・パリ	1960	紙・木版	51.5 × 37.8	A.P.	福島県立美術館
51.	ノートルダム、パリ(B)	1960	紙・木版	79.9 × 39.9	1/100	福島県立美術館
52.	本屋、セーヌ、パリ	1960	紙・木版	37.9 × 51.1	A.P.	福島県立美術館
53.	パリ(3)	1961	紙・木版	52.9 × 38.5	4/150	福島県立美術館
54.	舞妓、京都(L)	1961	紙・木版	75.1 × 44.7	1/150	福島県立美術館
55.	舞妓、京都(S)	1961	紙・木版	75.2 × 44.8	1/150	福島県立美術館
56.	グリニッチビレッジ(ニューヨーク)	1962	紙・コラグラフ	67.7 × 52.3	1/4	福島県立美術館
57.	シグナル(A)	1962	紙・木版	60.5 × 44.8	39/150	福島県立美術館
58.	セントラル公園、ニューヨーク	1962	紙・コラグラフ	67.7 × 52.1	1/3	福島県立美術館
59.	アネモネ	1963	紙・木版	75.9 × 45.6	1/50	福島県立美術館
60.	セーヌ、パリ(B)	1963	紙・コラグラフ	61.0 × 45.5	1/6	福島県立美術館
61.	猫(1)	1963	紙・コラグラフ	61.3 × 45.9	1/6	福島県立美術館
62.	猫(5)	1963	紙・コラグラフ	45.9 × 61.2	5/6	福島県立美術館
63.	メキシコ(B)	1963	紙・コラグラフ	45.4 × 60.0	6/6	福島県立美術館
64.	雪のボストン	1963	紙・コラグラフ	59.8 × 45.0	1/6	福島県立美術館
65.	キラウエア、ハワイ(C)	1964	紙・コラグラフ	45.7 × 60.6	1/6	福島県立美術館
66.	障子(D)	1964	紙・木版	41.5 × 57.1	1/100	福島県立美術館
67.	バニアンツリー、ハワイ(A)	1964	紙・コラグラフ	60.6 × 45.8	1/6	福島県立美術館
68.	パンジー	1964	紙・木版	52.8 × 38.4	1/100	福島県立美術館
69.	嵯峨、京都(B)	1965	紙・木版	37.9 × 52.8	1/100	福島県立美術館
70.	茶室	1965	紙・木版	38.4 × 52.9	1/100	福島県立美術館
71.	ニューメキシコ	1965	紙・木版	45.6 × 60.5	1/40	福島県立美術館
72.	タヒチ(A)	1966	紙・木版	45.6 × 60.2	6/50	福島県立美術館
73.	タヒチ(B)	1966	紙・木版	60.3 × 44.3	A.P.	福島県立美術館
74.	ヌード(C)	1966	紙・木版	42.1 × 29.1	1/100	福島県立美術館
75.	ヌード(G)	1966	紙・木版	60.3 × 44.6	1/50	福島県立美術館
76.	冬のパリ(C)	1966	紙・木版	53.0 × 38.0	1/100	福島県立美術館
77.	モンマルトル、パリ(B)	1966	紙・コラグラフ	30.4 × 22.4	9/10	福島県立美術館
78.	佐藤首相肖像	1967	紙・木版	60.4 × 43.5	—	福島県立美術館
79.	印度(B)	1968	紙・木版	38.8 × 53.1	1/80	福島県立美術館
80.	印度(C)	1968	紙・木版	38.8 × 53.1	1/80	福島県立美術館
81.	影	1968	紙・ドライポイント	21.2 × 19.5	1/30	福島県立美術館
82.	会津の冬(14)	1969	紙・木版	37.8 × 52.6	1/100	福島県立美術館

No.	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横)cm	ed	所蔵先
83.	ヌード(A)	1969	紙・ドライポイント	35.4 × 19.8	15/30	福島県立美術館
84.	会津の冬(1)	1970	紙・木版	38.4 × 52.8	74/80	福島県立美術館
85.	会津の冬(3)	1970	紙・木版	38.3 × 52.7	74/80	福島県立美術館
86.	会津の冬(17)	1970	紙・木版	38.1 × 52.6	74/80	福島県立美術館
87.	会津の冬(18)	1970	紙・木版	38.1 × 52.6	74/80	福島県立美術館
88.	会津の冬(19)	1970	紙・木版	38.5 × 52.4	74/80	福島県立美術館
89.	桂、京都'70(C)	1970	紙・木版	37.7 × 52.9	1/80	福島県立美術館
90.	円覚寺、鎌倉(B)	1971	紙・木版	37.8 × 52.7	80/80	福島県立美術館
91.	桂、京都(D)	1971	紙・木版	53.2 × 38.0	1/80	福島県立美術館
92.	夢(B)	1971	紙・木版	37.6 × 53.0	1/80	福島県立美術館
93.	会津の家(A)	1972	紙・木版	45.6 × 74.5	13/50	福島県立美術館
94.	浄智寺、鎌倉	1972	紙・木版	37.8 × 53.2	1/80	福島県立美術館
95.	六月、鎌倉(B)	1972	紙・木版	37.8 × 52.9	1/80	福島県立美術館
96.	柿の会津(2)	1973	紙・木版	38.0 × 52.9	1/80	福島県立美術館
97.	競艶	1973	紙・木版	45.3 × 74.5	1/80	福島県立美術館
98.	猜疑	1973	紙・木版	45.3 × 74.6	1/80	福島県立美術館
99.	初秋、会津	1973	紙・木版	37.8 × 52.8	1/80	福島県立美術館
100.	門、鎌倉(F)	1973	紙・木版	38.1 × 53.1	1/80	福島県立美術館
101.	会津の家(H)	1974	紙・木版	45.6 × 60.9	1/50	福島県立美術館
102.	会津の冬(21)	1974	紙・木版	37.5 × 52.5	1/80	福島県立美術館
103.	月下美人(A)	1975	紙・木版	74.6 × 45.1	2/30	福島県立美術館
104.	慈愛	1975	紙・木版	44.3 × 75.2	42/50	福島県立美術館
105.	稔りの会津(2)	1975	紙・木版	45.9 × 60.5	1/80	福島県立美術館
106.	稔りの会津(3)	1975	紙・木版	38.5 × 52.7	1/100	福島県立美術館
107.	ランプ	1975	紙・木版	75.4 × 45.5	19/50	福島県立美術館
108.	会津の冬(26)	1977	紙・木版	37.4 × 52.6	1/100	福島県立美術館
109.	慈愛(E)	1978	紙・木版	45.7 × 72.3	1/30	福島県立美術館
110.	会津の冬(38)	1979	紙・木版	45.4 × 91.2	1/80	福島県立美術館
111.	只見川、会津柳津(1)	1979	紙・木版	37.1 × 72.4	1/100	福島県立美術館
112.	只見川、会津柳津(2)	1979	紙・木版	40.8 × 91.0	1/80	福島県立美術館
113.	椿	1980	紙・木版	74.5 × 45.4	1/80	福島県立美術館
114.	霊峰(1)	1980	紙・木版	45.3 × 61.3	4/100	福島県立美術館
115.	霊峰(15)、晴天なり	1980	紙・木版	61.4 × 45.6	4/100	福島県立美術館
116.	霊峰(18)、秋(B)	1980	紙・木版	45.6 × 61.4	4/100	福島県立美術館
117.	会津の冬(50)	1981	紙・木版	38.1 × 52.9	1/130	福島県立美術館
118.	会津の冬(51)	1982	紙・木版	38.0 × 52.9	1/130	福島県立美術館
119.	会津の冬(55)	1982	紙・木版	38.1 × 52.9	1/30	福島県立美術館
120.	会津の冬(57)	1982	紙・木版	38.2 × 52.9	1/130	福島県立美術館
121.	春の鎌倉、甘縄神明宮	1983	紙・木版	52.8 × 38.1	1/130	福島県立美術館
122.	扉、英勝寺、鎌倉	1984	紙・木版	71.9 × 46.2	3/47	福島県立美術館
123.	会津の冬(67)坂下立木観音	1987	紙・木版	38.0 × 52.9	1/130	福島県立美術館
124.	会津の冬(71)若松	1987	紙・木版	38.0 × 52.9	1/130	福島県立美術館
125.	あれっ 三姿	1987	紙・木版	37.9 × 52.8	7/130	福島県立美術館
126.	地の幸	1989	紙・木版	45.8 × 61.0	A.P.3/4	福島県立美術館
127.	会津の冬(85)坂下町・宇内(4)	1990	紙・木版	37.7 × 52.7	3/100	福島県立美術館
128.	初夏の舞	1990	紙・木版	45.4 × 61.5	1/80	福島県立美術館
129.	会津の冬(93)金山町	1991	紙・木版	37.7 × 52.8	1/100	福島県立美術館
130.	秋模様	1991	紙・木版	45.6 × 61.6	68/80	福島県立美術館
131.	かすみ 慈愛	1991	紙・木版	44.2 × 60.3	1/80	福島県立美術館
132.	会津の冬(97)金山町・大志	1992	紙・木版	45.4 × 90.5	1/65	福島県立美術館

No.	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横)cm	ed	所蔵先
133.	会津の冬(111)柳津	1995	紙・木版	38.0 × 53.0	2/100	個人蔵
134.	会津の冬(115)西会津・軽沢	1996	紙・木版	37.8 × 52.9	1/100	個人蔵
135.	風	1997	紙・木版	60.0 × 45.8	—	福島県立美術館
136.	野仏(田代)(1)	1977	紙本墨画淡彩	97.4 × 67.2	—	福島県立美術館
137.	野仏(田代)(4)	1977	紙本墨画淡彩	97.0 × 66.7	—	福島県立美術館
138.	秋の只見	1980	紙本著色	97.0 × 375.5	—	福島県立美術館
139.	会津の冬(8)川井	1981	紙本墨画	51.3 × 97.0	—	福島県立美術館
140.	会津の冬(3)西会津・関根	1982	紙本墨画	52.0 × 97.0	—	福島県立美術館
141.	会津の冬(5)西会津・牧	1982	紙本墨画	52.0 × 97.0	—	福島県立美術館
142.	会津の冬、西会津・下安座	1982	紙本墨画	53.1 × 97.8	—	福島県立美術館
143.	会津の冬、三島町・滝谷	1982	紙本墨画	49.8 × 94.8	—	福島県立美術館
144.	会津の冬、柳津・大野(1)	1983	紙本墨画	51.5 × 97.5	—	福島県立美術館
145.	会津の冬、高田・下馬場	1984	紙本墨画	64.8 × 95.0	—	福島県立美術館
146.	会津の冬、坂下町・気多ノ宮(1)	1984	紙本墨画	65.0 × 94.9	—	福島県立美術館
147.	会津の冬、喜多方・南町	1985	紙本墨画	64.9 × 94.7	—	福島県立美術館
148.	会津の冬、柳津駅	1985	紙本墨画	64.8 × 94.8	—	福島県立美術館
149.	会津の冬、若松・新横町	1985	紙本墨画	65.7 × 96.3	—	福島県立美術館
150.	憩い、パリ	1959	紙・鉛筆	42.0 × 32.3	—	福島県立美術館
151.	教会	1959	紙・鉛筆	42.0 × 32.3	—	福島県立美術館
152.	凝視、パリ	1959	紙・鉛筆	42.0 × 32.3	—	福島県立美術館
153.	ノートルダム	1959	紙・鉛筆	42.0 × 32.3	—	福島県立美術館
154.	パリ	1959	紙・鉛筆	42.0 × 32.3	—	福島県立美術館
155.	本屋、セーヌ、パリ	1959	紙・鉛筆	32.3 × 42.0	—	福島県立美術館

◇関連記事

秋田魁新報 4/28,5/29,6/8

河北新報 5/30

読売新聞 4/22

ii.宮城県美術館所蔵名作選 近代洋画の軌跡

会期：2008年(平成20)6月21日(金)～8月24日(日)

主催：秋田県立近代美術館

後援：秋田魁新報社、NHK秋田放送局、ABS秋田放送、
AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、横手市、
横手市教育委員会

担当：太田和夫、山本丈志

1981年11月に開館した宮城県美術館は、美術館の核となる美術作品収集の基本方針のひとつに「日本の美術については明治時代以降の近代美術」をかかげて収集を重ねている。その成果は、日本洋画では明治初頭を飾る高橋由一の「松島五大堂図」をはじめ、岸田劉生、三岸好太郎、松本竣介、萬鉄五郎、中村彝、鳥海青児、海老原喜之助ら日本の近代美術史上に大きな足跡をのこした作家たちの作品群で知られています。

この展覧会では、同館の協力のより、こうして30年近くの長きにわたって収集された洋画作品のなかから、日本の近代洋画壇を彩る名作に、特別出展としてヴァシリー・カンディンスキーの作品を加え、総数59作家・60点の洋画作品をご紹介します。我が国の近代美術の流れを俯瞰した。



No.	作家名	作品名	制作年	形状	寸法(cm)
1	ヴァシリー・カンディンスキー	「E. R. キャンベルのための壁画No.4」の習作	1914(大正3)	麻布・油彩	69.8 × 48.4
2	〃	活気ある安定	1937(昭和12)	麻布・混合技法	116.0 × 89.0
3	高橋 由一	松島図	1881(明治14)	麻布・油彩	45.5 × 91.4
4	チャールズ・ワーグマン	江戸湾の朝	—	紙・油彩	24.6 × 39.0
5	曾山 幸彦	風景	—	麻布・油彩	45.6 × 69.8
6	小山 正太郎	風景	1876,78(明治9,11)	〃	58.0 × 85.0
7	渡辺 亮輔	樹 蔭	1907(明治40)	〃	60.8 × 45.8
8	中村 彝	自画像	1909(明治42)	〃	45.0 × 33.0
9	高橋 勝蔵	静 物	1910(明治43)	〃	45.8 × 60.9
10	岸田 劉生	真田久吉氏像	1913(大正2)	〃	45.6 × 37.8
11	満谷 国四郎	裸 婦	1915(大正4)	〃	130.5 × 80.8
12	萬 鉄五郎	自画像	1915(大正4)	〃	45.8 × 33.5
13	梅原 龍三郎	坐裸婦	1918(大正7)	〃	95.0 × 72.0
14	椿 貞雄	鵠沼の或る道	1920(大正9)	〃	38.0 × 45.6
15	牧野 虎雄	磯	1920(大正9)	〃	94.5 × 181.5
16	神原 泰	あるペシミストの手記 第1番	1923(大正12)	〃	60.5 × 50.0
17	清水 登之	地下鉄停車場	1924(大正13)	〃	116.5 × 81.5
18	矢部 友衛	(無題)	—	カンヴァスボード・油彩	40.5 × 31.6
19	東郷 青児	コーヒーを飲む女	1925(大正14)	麻布・油彩	55.6 × 37.6
20	岡本 唐貴	女	1927(昭和2)	〃	100.0 × 80.4
21	中野 和高	少 憩	1930(昭和5)	〃	177.0 × 266.0
22	川口 軌外	静 物	1932(昭和7)	〃	116.8 × 80.5
23	安宅 安五郎	刺 繍	1933(昭和8)	〃	136.5 × 121.7
24	三岸 好太郎	オーケストラ	1933(昭和8)	〃	91.0 × 116.5
25	海老原 喜之助	ポアソニエール	1935(昭和10)	〃	1.4 × 37.6
26	安井曾太郎	少女像	1937(昭和12)	〃	61.5 × 51.9
27	吉井 忠	二つの営力・死と生と	1938(昭和13)	〃	91.2 × 117.0

No.	作家名	作品名	制作年	形状	寸法 (cm)
28	猪熊 弦一郎	葉を持つ女	1939(昭和 14)	〃	81.4 × 60.5
29	広幡 憲	39 × Q E	1939(昭和 14)	板・油彩	31.5 × 40.8
30	斎藤 長三	たそがれ	1939(昭和 14)	麻布・油彩	258.4 × 194.7
31	矢崎 博信	時雨と猿	1940(昭和 15)	〃	130.2 × 162.0
32	襲 光	鳥	1940(昭和 16)	〃	45.4 × 37.9
33	松本 竣介	画家の像	1941(昭和 16)	〃	162.4 × 112.7
34	北川 民次	家族写真	1943(昭和 18)	〃	65.5 × 84.0
35	鶴岡 政男	人間気化	1953(昭和 28)	〃	350.4 × 272.8
36	村井 正誠	考える世界	1953(昭和 28)	〃	162.4 × 130.7
37	桂 ユキ	婦人の日	1953(昭和 28)	〃	117.1 × 91.3
38	石井 茂雄	暴力シリーズー戒厳状態IV	1956(昭和 31)	〃	144.5 × 112.4
39	山口 勝弘	ヴィトリヌ「サルゴン王の像」	1956(昭和 31)	〃	95.8 × 65.6 × 10.0
40	瑛 九	影	1958(昭和 33)	合板・油彩・ガラス	130.4 × 162.0
41	中村 宏	階段にて	1959,60(昭和 34,35)	合板・油彩	90.5 × 181.5
42	山田 正亮	WORK C.114	1962(昭和 37)	〃	162.0 × 115.0
43	杉全 直	WORK 1	1961(昭和 36)	〃	193.5 × 145.2
44	今井 俊満	P L E I N S O L E I L	1962(昭和 37)	〃	198.7 × 309.5
45	宮城 輝夫	月の番人	1963(昭和 38)	合板・油彩他	182.4 × 131.0
46	斎藤 義重	作品 (白)	1963(昭和 38)	合板・油彩	181.7 × 121.2
47	磯辺 行久	WORK 63-52	1963(昭和 38)	板・紙・大理石・油彩他	182.0 × 182.0
48	村上 善男	Polymerization - N - V(W) の場合, または腔内弾道学	1963(昭和 38)	合板・樹脂・紙型・注射針他	90.0 × 90.0
49	元永 定正	作 品	1964(昭和 39)	麻布・アクリル	182.8 × 275.0
50	白髪 一雄	天損星 浪裏白跳 張順	1964(昭和 39)	麻布・油彩	181.8 × 273.3
51	高松 次郎	ビーナスを見る女の影	1965(昭和 40)	合板・石膏・油彩	161.5 × 92.0
52	長谷川湊二郎	猫	1966(昭和 41)	麻布・油彩	30.9 × 40.9
53	宇佐美 圭司	交換No. 1	1968(昭和 43)	〃	240.0 × 185.0
54	吉原 治良	丸	1971(昭和 46)	麻布・アクリル	182.0 × 182.0
55	彦坂 尚嘉	PWP 32 AIR WAY	1980(昭和 55)	板・アクリル	140.5 × 112.5 × 13.5
56	佐々木 正芳	ぬぎたい II	1980(昭和 55)	麻布・アクリル	130.0 × 194.0
57	荒川 修作	Within Verbing/Blank Body/By …	1981(昭和 56)	合成樹脂系 絵具 パネル 6 枚組	336.0 × 1401.0
58	杉村 惇	古き雛	1983(昭和 58)	麻布・油彩	112.0 × 162.4
59	高山 登	のっぺらぼう 2	1984(昭和 59)	紙・黒鉛・アルミ	109.0 × 79.0
60	佐藤 一郎	朝 食	1984(昭和 59)	麻布・テンペラ	109.0 × 142.0

◆掲載記事

河北新報 7/10

iii.南極発!ペンギーからのメッセージ!! PINGU the Art World 環境が学べるアート展

会期：2008(平成20)年8月30日(土)～9月28日(日)

主催：秋田県立近代美術館

担当：山本丈志、小笠原宏

スイス生まれのクレイアニメーション「ペンギー」は1986年に映像が公開、1992年に世界各国でテレビ放送が開始され、世代や国境を越えて幅広く人気を集めている。放送された6シリーズ154話の中から数多くの小道具やセットが来日し、実際に撮影で使われたフィギュアをはじめ、メイキングの現場を紹介する。また、南極に暮らすペンギーからの地球環境に対するメッセージを情報と共に分かりやすく展示している。ペンギーと一緒に記念撮影や期間限定ペンギーショップコーナーもセットされ、家族で楽しみながら環境について考えることができる参加型の展覧会とである。



第1展示室

1. ビデオ (プロジェクター×1、モニター×4)
2. メモリアルモデル (20周年／25周年モデル)
3. パネル

- ①メッセージ
- ②プロローグ
- ③ヒストリー
- ④キャラクター紹介
- ⑤キャラクター紹介
- ⑥キャラクター紹介
- ⑦ダイジェスト
- ⑧ストーリーボード
- ⑨小物
- ⑩モデリング
- ⑪アニメティック
- ⑫撮影
- ⑬編集
- ⑭レコーディング
- ⑮ペンギーと風
- ⑯セット説明
- ⑰ペンギー空を飛ぶ
- ⑱ペンギーとパパの釣り合戦
- ⑲ペンギーとトランポリン

4. 撮影セット

- ①バスルーム撮影
- ②ドアベル
- ③ペンギーの部屋

5. 撮影モデル

- ①撮影モデル (ペンギーと風)
- ②小道具
- ③リビング
- ④連続モデル (ペンギー空を飛ぶ)

⑤連続モデル (ペンギーとパパの釣り合戦)

⑥連続モデル (ペンギーとトランポリン)

第2展示室

1. アートイグルー

- ① Kinpro & PINGU パネル
- ② FRP 立体造形
- ③ビデオモニター

2. イグルーの前でペンギーと記念撮影

- ① FRP 立体造形 (ペンギー、ピンガ、ピンギ、など)
- ②イグルー扉

3. ペンギーのお願い! 水を汚さないで!

- ①ミラー付き構造体
- ② FRP 立体造形
- ③ビデオモニター

4. ペンギーのお願い! オゾン層を守って～!

- ①南極クイズパネル
- ②ビデオモニター
- ③パネル (PINGU の棲む南極の自然環境)

5. 森林パワーに注目!

- ①ウッドチップタイル
- ②モデル (彫刻家)
- ③パネル
- ④ 10000 個の間伐材の積み木で遊ぼう!

第3展示室

1. PINGU の仲間が減ってゆく

- ① FRP 立体造形
- ②金属構造体

2. PINGU と見上げる満天の星空!

- ①ビデオプロジェクター×2

- ②電飾付きドーム
- 3. PINGU はエコロジカルに移動する
 - ① FRP 立体造形
 - ②雪上車
 - ③ビデオモニター
- 4. PINGU と考えよう！「ごみ」のこと！
 - ①パネル
 - ②ビデオモニター
- 5. 我が家の環境リーダー認定カウンター
- その他
 - ・名場面集パネル
 - ・ビデオモニター（エスキモーディスコ映像）

◇掲載記事

秋田魁新報 8/31
読売新聞 9/12

第4展示室

- 1. チーム・マイナス6%
 - ①ビデオモニター
 - ②パネル
- 2. ミュージアムショップ
 - ・期間限定商品販売

iv.風薫る、花香る、ヴィーナスたち。横山津恵展 郷土作家シリーズX

会期：2008(平成20)年10月4日(土)～11月9日(日)

主催：秋田県立近代美術館

担当：山本丈志

2007年1月、横山津恵の急逝に際して、代表作を数多く所蔵する当館では哀悼の意を表し、所蔵品による回顧展を急きょ秋田市で開催した。その反響に応え、郷土作家シリーズの第10弾として、長きにわたって秋田県美術界を先導してきた横山津恵の画業を紹介した。展覧会では院展出品作を中心に構成し、紆余曲折する創作の過程をたどりながら、横山がたどり着いた裸婦の美について考察した。



No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	出展	所蔵先
1.	髪	1947	絹本着色	88.0 × 57.4	第12回秋田美術展	秋田県立近代美術館
2.	婦人像	1948 頃	絹本着色	78.5 × 55.1	—	秋田県立金足農学校
3.	少女	1953 頃	絹本着色	79.0 × 57.2	—	秋田市立土崎図書館
4.	少女	1953 頃	絹本着色	80.4 × 56.2	—	秋田市立岩見三内中学校
5.	淳子	1949	紙本着色	151.0 × 91.0	第2回秋田県総合美術展	秋田県立近代美術館
6.	椅子	1950	紙本着色・二曲一隻	149.0 × 170.0	第3回秋田県総合美術展	
7.	三人	1948	絹本着色	146.0 × 146.0	第1回秋田県総合美術展	秋田市立千秋美術館
8.	草の上	1953	紙本着色	125.5 × 119.0	再興第38回院展	秋田県立近代美術館
9.	陶家	1954	紙本着色	181.0 × 120.0	再興第39回院展	秋田十條化成株式会社
10.	畦	1957	紙本着色	197.0 × 167.0	再興第42回院展	秋田県立図書館
11.	苗の頃	1958	紙本着色	175.7 × 211.2	再興第43回院展	秋田県立近代美術館
12.	網干し場	1961	紙本着色	182.0 × 227.6	再興第46回院展	秋田県立近代美術館
13.	花市の女たち	1963	紙本着色	151.5 × 227.3	再興第48回院展	秋田県立近代美術館
14.	花野	1963	紙本着色	151.5 × 75.9	第18回院展春季展	秋田県立近代美術館
15.	湖の譚	1965	紙本着色	227.0 × 181.7	再興第50回院展	秋田県立近代美術館
16.	花	1965	紙本着色	119.2 × 70.9	第20回日本美術院春季展	秋田県立近代美術館
17.	犬っこ市	1966	紙本着色	151.5 × 76.4	第21回院展春季展	秋田県立近代美術館
18.	犬っこ市	1966	紙本着色	227.0 × 181.5	再興第51回院展	秋田県立近代美術館
19.	伽縷羅	1967	キャンバス着色	212.6 × 175.3	再興第52回院展	秋田県立近代美術館
20.	マリオネットなど	1968	紙本着色	175.8 × 220.7	再興第53回院展	秋田県立近代美術館
21.	なまはげのくる日	1969	紙本着色	151.5 × 76.2	—	秋田県立近代美術館
22.	なまはげのくる日	1969	紙本着色	122.0 × 60.5	第33回河北美術展招待出品	秋田県立近代美術館
23.	なまはげのくる日	1969	紙本着色	151.7 × 75.5	仙台美術館開館記念河北美術展招待展	秋田県立近代美術館
24.	北国	1969	紙本着色	181.0 × 227.0	再興第54回院展	秋田県立近代美術館
25.	女たち	1970	紙本着色	172.0 × 217.4	再興第55回院展	秋田県立近代美術館
26.	双生	1971	紙本着色	105.0 × 105.0	第26回春の院展・奨励賞	秋田県立近代美術館
27.	花と貝	1972	紙本着色	106.3 × 106.2	第27回春の院展・奨励賞	秋田県立近代美術館
28.	海の譜	1971	紙本着色	180.4 × 226.0	再興第56回院展・奨励賞・白寿賞・G賞	秋田県立近代美術館
29.	花の譜	1972	紙本着色	180.0 × 227.3	再興第57回院展	秋田県立近代美術館
30.	花陰	1973	紙本着色	106.5 × 106.4	第28回春の院展	秋田県立近代美術館
31.	華と猫	1973	紙本着色	182.3 × 227.7	再興第58回院展・奨励賞・白寿賞・G賞	秋田県立近代美術館
32.	花埋み	1974	紙本着色	103.0 × 102.9	第29回春の院・奨励賞	秋田県立近代美術館
33.	五月の花	1974	紙本着色	172.3 × 217.5	再興第59回院展・奨励賞	秋田県立近代美術館

No. 作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	出展	所蔵先
34. 山のマロニエ	1975	紙本着色	218.8 × 172.7	再興第 60 回院展・奨励賞	秋田県立近代美術館
35. 野	1976	紙本着色	97.0 × 103.2	第 31 回春の院展・奨励賞	秋田県立近代美術館
36. 野	1976	紙本着色	164.1 × 209.5	再興第 61 回院展	秋田県立近代美術館
37. 横臥裸婦	1977	紙本着色	172.8 × 218.0	再興第 62 回院展奨励賞	秋田県立近代美術館
38. 白杵曼荼羅	1978	紙本着色	174.0 × 219.0	再興第 63 回院展・奨励賞	秋田県立近代美術館
39. 裸婦	—	紙本着色	60.6 × 45.5	—	秋田県立近代美術館
40. 沖縄の踊り子	1979	紙本着色	97.5 × 103.3	第 34 回春の院展・無鑑査	秋田県立近代美術館
41. 珊瑚礁Ⅰ	1979	紙本着色	174.0 × 222.2	再興第 64 回院展・奨励賞	秋田県立近代美術館
42. 珊瑚礁Ⅱ	1980	紙本着色	89.2 × 101.0	第 35 回春の院展・奨励賞	秋田県立近代美術館
43. 珊瑚礁Ⅲ	1980	紙本着色	174.0 × 222.2	再興第 65 回院展	秋田県立近代美術館
44. 珊瑚礁Ⅳ	1981	紙本着色	130.3 × 162.1	第 6 回山種美術館賞展	秋田県立近代美術館
45. 珊瑚礁Ⅴ	1981	紙本着色	145.5 × 69.7	第 36 回春の院展・奨励賞	秋田県立近代美術館
46. 珊瑚礁Ⅵ	1981	紙本着色	175.3 × 220.0	再興第 66 回院展・奨励賞・白寿賞・G 賞	秋田県立近代美術館
47. 珊瑚礁Ⅶ	1983	紙本着色	139.9 × 92.3	第 38 回春の院展	秋田県立近代美術館
48. 珊瑚礁Ⅷ	1985	紙本着色	159.8 × 217.0	再興第 70 回院展・奨励賞	秋田県立近代美術館
49. 更紗裸婦	1985	紙本着色	65.2 × 91.0	1986 女流画家展	秋田県立近代美術館
50. 珊瑚礁Ⅸ	1987	紙本着色	181.0 × 227.0	再興第 72 回院展	秋田県立近代美術館
51. 裸婦	1984	紙本着色	99.2 × 99.2	第 39 回春の院展・奨励賞	秋田県立近代美術館
52. 少女横臥	1984	紙本着色	175.2 × 211.2	再興第 69 回院展奨励賞	秋田県立近代美術館
53. 裸婦	1985	紙本着色	97.1 × 102.1	第 40 回春の院展・奨励賞	秋田県立近代美術館
54. 遙	1986	紙本着色	95.5 × 100.5	1987 女流画家展	秋田県立近代美術館
55. 風の声	1988	紙本着色	91.0 × 60.6	1989 女流画家展	秋田県立近代美術館
56. 花籠	1990	紙本着色	88.5 × 102.5	1991 女流画家展	秋田県立近代美術館
57. フィレンツェの窓	1989	紙本着色	165.0 × 217.0	再興第 74 回院展	秋田県立近代美術館
58. エレーヌ	1990	紙本着色	80.5 × 112.5	第 45 回春の院展	秋田県立近代美術館
59. 五月Ⅰ	1990	紙本着色	165.0 × 217.0	再興第 75 回院展	秋田県立近代美術館
60. 五月Ⅱ	1991	紙本着色	221.0 × 176.0	再興第 76 回院展	秋田県立近代美術館
61. 風の巴里	1989	紙本着色	145.0 × 70.0	第 44 回春の院展	天童市美術館
62. 夕月の巴里	1991	紙本着色	143.9 × 69.0	第 46 回春の院展	秋田県立近代美術館
63. エレーヌ	1991	紙本着色	91.0 × 60.6	1992 女流画家展	秋田県立近代美術館
64. 続エレーヌ	1992	紙本着色	65.2 × 100.0	1993 女流画家展	秋田県立近代美術館
65. 座	1992	紙本着色	143.9 × 69.0	第 47 回春の院展	秋田県立近代美術館
66. 燈燐ふたたび	1993	紙本着色	96.0 × 106.0	第 48 回春の院展	秋田県立近代美術館
R3. 花陰	1966 頃	紙本着色	151.9 × 76.4	—	秋田県立由利高等学校
R5. SQUARE	1989	紙本着色	116.7 × 72.7	1990 女流画家展	秋田県立雄勝高等学校
R6. 絵馬「鷹狩図」	1930	紙本着色	76.0 × 59.0	—	日吉神社

◇掲載記事

読売新聞 9/30

秋田魁新報 10/2,6,9,16

V. 日本画の時代展 ー大観、廣業、半古、時代を彩った巨匠たちー

会期：2008年11月15日（土）～2009年2月1日（日）

（休館日：2008年12月29日～31日、2009年1月13日～22日）

主催：秋田県立近代美術館

担当：木村雅洋

当館では平福百穂や寺崎廣業、福田豊四郎といった秋田出身作家の作品がコレクションの核となっているが、近代の画壇の変遷を語る上で欠かせない横山大観や、鏑木清方といった日本画の巨匠たちの作品も収集の対象としている。この度開催した「日本画の時代」展では、開館以来収集してきたこれらの代表的な日本画作品を一堂に会し、各作家を活躍した時代ごとに展示することで、明治以降多様化してきた日本画の表現をご覧いただけるようにしてみた。



第1展示室：

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横) c m
1	川端玉章	四時群花図	1877頃	絹本金地着色	43.1×68.3
2	梶田半古	孔雀図屏風	1908頃	絹本金地着色	(6曲1双) 各172.0×376.0
3	下村観山	三保富士	1919	絹本金地着色	(6曲1双) 各167.0×370.0
4	寺崎廣業	夜聴歌者	1915	絹本裏箔着色	(6曲1双) 各166.6×370.8
5	横山大観	雲中富士	1915頃	紙本金地着色	(2曲1双) 各169.0×178
6	平福穂庵	乞食図	1880	綿布墨画淡彩	166.2×84.1
7	平福穂庵	乳虎	1890	絹本墨画淡彩	82.4×159.5

第2展示室：

8	鏑木清方	秋の夜	1919	絹本着色	140.3×50.7
9	鏑木清方	松と梅	1918	絹本裏箔着色	(2枚) 各169.0×176.0
10	山村耕花	お七吉三	1910年代頃	絹本着色	(対幅) 各126.0×42.0
11	小杉放菴	雀の御宿	—	紙本墨画淡彩	39.0×43.0
12	小杉放菴	黒真珠	1935	紙本着色	46.3×55.5
13	結城素明	不老富貴図	—	絹本着色	(対幅) 各127.0×41.8
14	結城素明	春秋山水	昭和初期頃	絹本着色	(対幅) 各126.0×46.0
15	吉川霊華	駿馬	—	絹本着色	140.0×51.0
16	平福百穂	神語	1918	紙本淡彩	(3幅対) 各55.7×68.0
17	平福百穂	菜圃	1920	絹本裏箔着色	(2曲1双) 各147.8×162.8
18	平福百穂	群鴉	1917	紙本金地墨画	(2曲1双左隻) 172.7×170.2
19	川端龍子	鶉	—	絹本着色	136.2×51.2
20	小川芋銭	草汁翁作海坊主	—	紙本墨画	径 60.6
21	小川芋銭	浪裡白跳	—	紙本墨画淡彩	60.3×90.5
22	酒井三良	残照	1923	絹本着色	136.0×112.0

第3展示室：

23	福田豊四郎	春寒(人物)	1933	紙本着色	119.6×88.0
24	福田豊四郎	軍鶏	1954	絹本金地着色	89.5×63.7
25	福田豊四郎	風樹	1961	紙本着色	113.7×77.5
26	工藤甲人	星と鳥	1963	紙本着色	49.7×60.5
27	工藤甲人	連理の木の葉	1963	紙本着色	73.0×60.3
28	工藤甲人	巢	1959	紙本着色	60.5×72.5
29	堀文子	八丈島風景	1949	紙本着色	70.7×88.1

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横) c m
30	堀文子	廃墟	1948	紙本着色	88.1×70.7
31	岩崎鐸	結婚式	1951	紙本着色	182.7×211.8
32	町田曲江	哀愍	1936	絹本着色	229.0×113.6・229.0×71.0
33	玉村方久斗	書斎(仮題)	1931頃	紙本着色	65.8×65.9
34	玉村方久斗	玄関にて(仮題)	1931頃	紙本着色	66.0×66.0
35	玉村方久斗	庭先光景(仮題)	1931頃	紙本着色	65.9×66.2
36	玉村方久斗	立ち話(仮題)	1931頃	紙本着色	65.8×66.1
37	玉村方久斗	プラットホーム(仮題)	1931頃	紙本着色	65.9×65.9

第4展示室：

38	荘司福	生々	1976	紙本着色	122.3×182.8
39	荘司福	季	1995	紙本着色	170.0×310.0
40	小松均	春の最上川	1974	紙本墨画着色	(2面) 各94.0×368.0
41	後藤純男	秋田駒ヶ岳	1997	紙本着色	90.5×205.5
42	小泉淳作	春を待つ鳥海山	1995	紙本墨画淡彩	155.0×271.0
43	佐々木裕久	地の華ー凍結した夜ー	1972	紙本着色	120.0×165.2

◇掲載記事

秋田魁新報 11/12、1/15,22,29、県南版 11/12

河北新報 12/18

秋田タウン情報 12月号

rakra 12月号

美術の窓 1月号

趣味の水墨画 2月号

vi. 日本画家の、創造のみなもとへ・・・福田豊四郎のデッサン力展

会期：2009(平成21)年2月7日(土)～4月19日(日)

主催：秋田県立近代美術館

担当：山本丈志

当館の所蔵品によって、日本画家福田豊四郎の素描をこれまでにない規模で紹介し、豊四郎の創作の源を探った展覧会である。全132点のうち、87点が初公開となる。

特に生家から発見された豊四郎10代の素描類は日本画家浅井直道、洋画家鹿子木孟郎、日本画家川端龍子、土田麦僊へと師を替えた様子が素描の特徴に重なり、年譜にはない事実を語る傍証となるものだった。他に「小さな生命」と題し、生涯かけて描き続けた小動物に、豊四郎が学び到達した心境を絶筆のためにスケッチに集約して紹介した。



◆第1展示室 十代の福田豊四郎

※作品はすべて秋田県立近代美術館蔵

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)
1.	二階から	1919	紙・水彩	14.3 × 18.7
●京都時代(浅井直道、鹿子木孟郎に学ぶ) 大正8年11月から大正10年頃				
2.	三条街道	1920	紙・墨、水彩	11.1 × 18.0
3.	奈良にて	1920	紙・鉛筆、水彩	18.0 × 11.1
4.	あやめ花	1920	紙・墨、水彩	54.6 × 19.7
5.	しゃが	1920	紙・墨、顔彩	55.6 × 19.8
6.	梅の實	1920	紙・墨、水彩	20.0 × 27.4
7.	椿	1920	紙・墨、水彩	19.9 × 27.5
8.	スケッチ帖『第壱號』	1919-1920		27.0 × 19.4
9.	スケッチ帖『第貳號』	1920		24.7 × 17.2
10.	スケッチ帖『第参號』	1920		25.9 × 18.3
11.	文芸誌『髑髏』	1922		17.3 × 12.8 (表紙絵：豊四郎)

●東京時代(川端龍子に学ぶ) 大正10年春から大正12年夏

12.	寺社スケッチ	1921	紙・鉛筆	14.6 × 9.6
13.	風景スケッチ	1921	紙・鉛筆	14.6 × 9.6
14.	風景スケッチ	1921	紙・墨	27.8 × 18.0
15.	馬込の街道	1921	紙・鉛筆、水彩	22.3 × 14.6
16.	洋館	1921	紙・鉛筆、水彩	22.2 × 14.5
17.	人物素描	1921	紙・鉛筆	14.6 × 22.3
18.	人物素描	1921	紙・鉛筆	22.1 × 14.6
19.	男の顔	1922	紙・コンテ	27.7 × 22.0
20.	風景スケッチ	1922	紙・色鉛筆	19.3 × 22.1
21.	風景スケッチ	1922	紙・色鉛筆、墨	28.4 × 18.7
22.	犬の親子	1923	紙・鉛筆、水彩	18.1 × 13.0
23.	洗濯	1923	紙・鉛筆	17.9 × 13.1
24.	街頭スケッチ	1923頃	紙・色鉛筆	18.0 × 13.2
25.	街頭スケッチ	1923頃	紙・色鉛筆	13.2 × 18.0
26.	街頭スケッチ	—	紙・鉛筆、水彩	19.0 × 14.4

No. 作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
27. 街頭スケッチ	—	紙・鉛筆、水彩	19.0 × 14.4
28. 亀永さん	1923	紙・コンテ	35.7 × 27.2
●自画像			
29. 自画像	—	紙・鉛筆	18.1 × 13.1
30. 自画像	—	紙・墨、水彩	16.7 × 13.2
31. 自画像	1921	紙・墨、水彩	24.1 × 15.9
32. 自画像	1922	紙・墨、パステル	24.8 × 28.9
33. 自画像	1922	紙・色鉛筆	22.5 × 17.3
●京都時代(土田麦僊に学ぶ) 大正 12 年夏から			
34. メモ	1923	紙・鉛筆	13.1 × 17.8
35. 菜花	—	紙・墨、水彩	40.2 × 27.9
36. 豆の花	—	紙・墨、水彩	40.1 × 28.1
37. 百日草	1923	鉛筆、水彩	57.5 × 37.5
38. フヨウ	—	紙・墨、水彩	39.9 × 28.1
39. 鴛	—	紙・鉛筆、墨、水彩	34.1 × 38.8
40. 水仙	1924	紙・鉛筆、水彩	28.2 × 20.3
◆第2展示室 豊四郎のスケッチ			
●秋田を描いた風景スケッチなど			
No. 作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
41. 新町にて	—	紙・鉛筆	19.7 × 27.5
42. 毛馬内にて	1926	紙・鉛筆	27.1 × 39.8
43. 尾樽部にて	1926	紙・鉛筆	27.4 × 39.8
44. 大湯にて	—	・鉛筆	27.2 × 39.8
45. 宇樽部近處	—	紙・コンテ	28.7 × 37.9
46. ニツ井にて	1926	紙・鉛筆	26.9 × 36.8
47. 八幡平	1952	紙・鉛筆、水彩	25.7 × 36.0
48. 十和田湖展望	—	紙・鉛筆、水彩	29.5 × 38.6
49. 「ニツ井町・きみまち坂あたり」七座山から見た風景スケッチ	—	紙・鉛筆、水彩	各 37.1 × 27.7
50. 国見 蒸の湯への道	—	紙・鉛筆、水彩	25.7 × 36.1
51. 鳥海山	—	紙・鉛筆、水彩	27.1 × 36.0
52. 福田薬局	—	紙・鉛筆	29.2 × 38.5
53. 市日	—	紙・鉛筆、色鉛筆	38.4 × 29.2
54. 同和鉱業小坂製錬所	—	紙・鉛筆、水彩	左 35.4 × 25.2・右 35.6 × 25.2
55. 湯沢にて	—	紙・鉛筆、水彩	各 37.0 × 27.0
56. 街頭スケッチ	—	紙・鉛筆、水彩	27.5 × 36.5
57. 黒湯	—	紙・鉛筆、水彩	24.8 × 33.4
●風俗メモ			
58. 農民スケッチ	—	紙・鉛筆	28.0 × 37.1
59. 農民スケッチ	—	紙・鉛筆	29.2 × 38.2
60. 市の人物	—	紙・コンテ、鉛筆	38.4 × 58.3
61. 農民スケッチ (西目)	—	紙・鉛筆、色鉛筆	25.7 × 36.1
62. 農民スケッチ (西目)	—	紙・鉛筆	25.6 × 36.2
●秋田おばこ			
63. 女の顔	—	紙・コンテ	39.8 × 27.8
64. 農婦	—	紙・鉛筆、水彩	36.1 × 25.7
65. 農婦	—	紙・鉛筆、水彩	37.1 × 28.0

No. 作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
66. 小坂の農婦	1952	紙・鉛筆、水彩	54.9 × 39.5
67. 農婦 (秋田県由利風俗)	—	紙・鉛筆、水彩	36.9 × 27.9
68. 婦人スケッチ	—	紙・鉛筆、色鉛筆	29.4 × 21.0
69. 農婦	—	紙・鉛筆	29.4 × 21.0
●子供たち			
70. 女の子	—	紙・鉛筆、水彩	25.1 × 19.4
71. 男の子	—	紙・鉛筆、水彩	25.1 × 19.4
72. 子供と牛	—	紙・鉛筆	34.0 × 21.5
73. 横手のかまくら	—	紙・鉛筆、水彩	36.3 × 27.4
74. 次男春土の肖像	1944	紙・鉛筆、水彩	29.3 × 20.4
75. 子供	—	紙・クレヨン	28.7 × 18.7
●植物スケッチ①			
76. テッセン	1965	紙・鉛筆、水彩	39.4 × 54.6
77. レンコン	1927	紙・鉛筆、水彩	41.3 × 56.0
78. ザクロ	1962	紙・鉛筆、水彩	31.8 × 47.0
79. グミ	1938	紙・鉛筆、墨、水彩	48.3 × 71.0
●植物スケッチ②	闘病生活の中で昭和 40 年春から昭和 45 年秋		
80. ドラセナ	1965	紙・鉛筆、水彩	54.5 × 38.4
81. デンドロビウム	—	紙・鉛筆、水彩	51.4 × 36.2
82. 胡蝶蘭	—	紙・鉛筆、水彩	54.5 × 38.3
83. フサゲイトウ	—	紙・鉛筆、水彩	54.6 × 38.4
84. 桔梗	—	紙・鉛筆、水彩	54.7 × 39.4
85. シンビディウム	1966	紙・鉛筆、水彩	54.7 × 39.4
86. シンビディウム	—	紙・鉛筆、水彩	54.7 × 39.4
87. ケイトウ	1967	紙・鉛筆、岩絵の具	39.3 × 39.3

◆第3展示室 創造の道程

No. 作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
「熔鑛爐」 1933			
88. 坑夫スケッチ	—	紙・鉛筆	29.2 × 38.6
89. 坑夫スケッチ	—	紙・鉛筆	29.2 × 38.6
90. 鋳炉	—	紙・鉛筆	29.2 × 38.6
「夏郷」 1934			
91. 婦人スケッチ	—	紙・鉛筆	28.4 × 24.2
92. 河骨	—	紙・鉛筆、水彩	28.4 × 24.7
「蒙疆」 1939			
93. 「蒙疆」エスキース	—	紙・インク	26.2 × 19.0
94. ラクダ	—	紙・鉛筆、水彩	27.5 × 36.5
「大同石仏」 1939			
95. 石仏洞 (大同)	1938	紙・鉛筆、水彩	37.3 × 28.8
96. 石仏洞 (大同)	1938	紙・鉛筆、水彩	37.3 × 28.8
「冬漁 (八郎湖凍漁)」 1941			
97. 漁をする人	—	紙・鉛筆	27.3 × 36.5
98. 漁をする人	—	紙・鉛筆、水彩	22.8 × 29.9
「秋田のマリヤ」 1948			
99. 「秋田のマリヤ」エスキース	—	紙・鉛筆、色鉛筆、パステル	27.2 × 38.6
100. 母子像	—	紙・鉛筆	53.0 × 41.5
101. 四男美土スケッチ	1948	紙・鉛筆	59.6 × 42.5
102. 馬	—	紙・鉛筆	30.7 × 21.7
103. 飼うウサギ	—	紙・鉛筆	25.0 × 35.0

No. 作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
「海女」 1950			
104.裸婦スケッチ	—	紙・鉛筆	39.6 × 38.1
105.手足スケッチ	—	紙・鉛筆	21.4 × 29.0
「月夜」 1954			
106.「月夜」エスキース	—	紙・鉛筆、色鉛筆、水彩	21.6 × 37.9
107.男性スケッチ	—	紙・鉛筆	26.7 × 38.0
「雪国」 1968			
108.「雪国」エスキース	1968	紙・鉛筆、墨、水彩	20.6 × 28.9
R1.山河(参考展示)	—	紙・木版	15.3 × 33.3
「濤」 1956			
109.「濤」エスキース	—	紙・インク	37.3 × 29.7
110.「濤」エスキース	—	紙・クレヨン、水彩	41.5 × 53.0

◆第4展示室 小さい生命

No. 作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
111.ヒメヤママユガ	1922	紙・墨、水彩	28.0 × 19.8
112.アカテガニ	1922	紙・鉛筆、水彩	23.9 × 31.4
113.リス	1924	紙・鉛筆	28.1 × 20.0
114.ネコ	1924	紙・鉛筆	21.9 × 30.9
115.ウサギ	—	紙・鉛筆	28.0 × 37.7
116.イヌ	—	紙・鉛筆	28.0 × 37.6
117.伊勢海老	1936	紙・鉛筆、墨、水彩	70.5 × 48.5
118.ナマズ	—	紙・鉛筆、水彩	29.3 × 37.2
119.及川	—	紙・鉛筆、墨、水彩	28.0 × 37.7
120.トンボ	1939 頃	紙・鉛筆、水彩	14.3 × 37.2
121.スキッチョ虫(ウマオイ)	—	紙・鉛筆、水彩	25.4 × 40.8
122.カマキリ	1952	紙・鉛筆、水彩	27.4 × 39.5
123.ショウリョウバッタ	—	紙・鉛筆、水彩	28.7 × 37.3
124.バッタ	—	紙・鉛筆、水彩	28.0 × 37.8
125.イカ	—	紙・鉛筆、水彩	27.5 × 36.5
126.鯨と海老	—	紙・鉛筆、墨	37.0 × 27.1
127.カタツムリ	—	紙・鉛筆、水彩	28.9 × 37.2
128.トノサマガエル	1970	紙、トレーシングペーパー・鉛筆	28.9 × 20.3
129.トノサマガエル	1970	紙・鉛筆	20.8 × 20.3
130.子雀	—	紙・鉛筆、水彩	18.6 × 28.4
131.ひば里のひな	—	紙・鉛筆	18.6 × 28.8
132.ツバメの子	—	紙・鉛筆、水彩	26.1 × 37.5

◇掲載記事

秋田魁新報 3/3

コレクション展

i. 秋田のアートはここで見る!

ピックアップアーティスト「関谷 四郎」

会期：2008（平成20）年4月16日（水）～7月13日（日）

第1展示室（6階）：日本画名作選

第2展示室（6階）：洋画名作選

第3展示室（6階）：関谷四郎コレクション

担当：木村雅洋

第1展示室

◆日本画

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
1	平福穂庵	藤花游鯉	1890	紙本墨画淡彩	133.4×52.5
2	平福穂庵	緑蔭清談	1886	紙本墨画淡彩	150.0×79.2
3	寺崎廣業	淵明撫松	—	絹本着色	198.5×84.8
4	寺崎廣業	絶峰催春	—	紙本墨画	137.0×56.0
5	平福百穂	日本武尊・白鳥陵・相模の海	1918	紙本墨画淡彩	（3幅対）各156.0×47.41
6	高橋萬年	馬屋	—	紙本着色	（2曲1隻）173.0×173.0
7	福田豊四郎	山春	1930	絹本着色	（2面）各228.8×106.8
8	福田豊四郎	山菜売る人達	1932	紙本着色	（6曲1隻）168.0×381.6
9	櫻庭藤二郎	山湖早春	1984	紙本着色	165.2×209.5
10	信太金昌	源流	1959	紙本着色	162.1×130.3
11	小田野直武	写生帖	1777年頃	紙本着色・墨画	（1冊）42.5×28.3
12	小田野直武	唐太宗・花鳥山水	1770年代	絹本着色	（3幅対）各122.0×44.5
（床の間展示：版画）					
13	勝平得之	秋田風俗十題・ささまき	1942	紙・板目木版	29.0×40.4

第2展示室

◆洋画

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
1	小西正太郎	婦人像	1925頃	キャンバス・油彩	73.0×60.0
2	小西正太郎	婦人像	1925頃	キャンバス・油彩	73.0×60.0
3	小西正太郎	若い女	1925	キャンバス・油彩	100.0×80.9
4	藤田嗣治	オペラ座の夢	—	キャンバス・油彩	23.0×28.0
5	伊勢正義	冬	1939	キャンバス・油彩	161.0×130.0
6	大原省三	座像	1952	キャンバス・油彩	130.5×64.8
7	野呂正男	Aï-25（Aï-23）	1972	紙（キャンソン）・モノタイプ°	72.8×60.6
8	野呂正男	Aï-21	1971	紙（キャンソン）・モノタイプ°	80.3×60.6
9	野呂正男	Aï-32	1973	紙（キャンソン）・モノタイプ°	80.3×60.6
10	野呂正男	Aï-34	1973	紙（キャンソン）・モノタイプ°	72.8×60.6
11	馬場彬	不確かなポートレート（寄託品）	1979	キャンバス・油彩	130.0×130.0
12	馬場彬	有限的眺望A	1983	キャンバス・油彩	130.3×162.0
13	馬場彬	存在のアンチモニュメント・又は廃虚風景	1977	キャンバス・油彩	130.0×130.0
14	河村千代三	風の軌跡	1961	キャンバス・油彩	97.0×130.3
15	河村千代三	緑雨	1961	キャンバス・油彩	97.0×130.3
16	佐々木良三	地に舞う（寄託品）	1982	キャンバス・油彩	97.0×130.0
17	加藤貞子	人形衆IV	1979	キャンバス・油彩	182.0×227.0
18	藤井勉	フリージア	1983	キャンバス・油彩	90.9×116.5

第3展示室

◆工芸 ピックアップアーティスト「関谷四郎」

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
1	関谷四郎	赤銅銀銅接合皿	1983	接合・鍛金・鍍金・赤銅・銀・銅・金	径30.0×高7.0
2	関谷四郎	金彩壺	1983	鍛金・鍍金・銅・金	径18.8×高25.0
3	関谷四郎	金彩壺	1976	鍛金・鍍金・銅・金	径17.0×高31.0
4	関谷四郎	鉄壺	1976	鍛金・鍍金・鉄・金	径26.5×高26.5
5	関谷四郎	接合横線壺	1968	接合・鍛金・鍍金・鉄・銅・金	径20.0×高20.0
6	関谷四郎	黒銅金彩花瓶	1980	鍛金・鍍金・黒銅・金	径20.5×高20.5
7	関谷四郎	銅鉄接合花瓶	1983	接合・鍛金・鍍金・銅・鉄・金	高19.0×27.3×27.3
8	関谷四郎	銀打出釜	1985	鍛金・鍍金・銀・金	径22.5×高18.5
9	関谷四郎	花器(ばら文花器)	1985	鍛金・鍍金・銅・金	高29.5×21.5×15.1

ii. 秋田のアートはここでもみる!

ピックアップアーティスト「金沢 秀之助」

第2期：2008（平成20）年7月16日（水）～10月13日（月）

第1展示室(6階)：日本画コレクション

第2展示室(6階)：洋画・版画コレクション

第3展示室(6階)：「心揺らす色彩」（金沢秀之助コレクション）

担 当：沼田 仁

◆第1展示室 「日本画」

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
1	寺崎 廣業	長恨歌	1913	絹本金地着色	(6曲1双) 各171.0×373.5
2	平福 穂庵	祐天上人霊夢	1889	絹本着色	123.0×53.0
3	平福 穂庵	江口/君(寄託品)	1887	絹本着色	112.0×54.8
4	倉田 松濤	アイヌ	-	紙本墨画淡彩	133.0×66.0
5	平福 百穂	翡翠	-	絹本墨画淡彩	135.0×41.3
6	平福 百穂	鳳仙花と七面鳥	-	紙本着色	146.0×96.9
7	福田 豊四郎	草野	1933	紙本着色	(2曲1隻) 211.0×302.3
8	小田野 直武	不忍池図(重文)	1770年代	絹本着色	98.5×130.5
9	荘司 福	祈り	1964	紙本着色	110.0×125.0
10	河津 胖子	夏の終わり	1977	紙本着色	102.0×102.0

◆第2展示室「洋画」

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
1	佐藤 義雄	自画像	1935	キャンバス・油彩	41.0×31.8
2	小西 正太郎	裸婦	1925	キャンバス・油彩	100.0×80.0
3	奈良 清四郎	裸婦	1930	キャンバス・油彩	61.0×50.0
4	伊勢 正義	集ひ	1935	キャンバス・油彩	180.0×301.0
5	田口 省吾	街の音楽	1931	キャンバス・油彩	112.1×301.0
6	井上 松治	雨あがり	-	キャンバス・油彩	73.0×91.0
7	紺野 五郎	腰かける裸婦	1963	キャンバス・油彩	162.0×130.3
8	伊藤 康夫	ARCADIA(鳩を追う)	1992	キャンバス・油彩	193.0×162.0
9	三浦 明範	斜線の風景	1984	キャンバス・テンペラ・油彩	162.2×193.3
10	檜尾 直	ある風景'95 I	1995	キャンバス・油彩	162.1×112.1
11	渋谷 重弘	野を盛る	1995	キャンバス・油彩	72.8×91.0

◆第2展示室「版画」

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
1	勝平 得之	七夕(湯沢)	1937	紙・木版	36.7×51.4
2	勝平 得之	送り盆(横手)	1940	紙・木版	59.0×86.2
3	勝平 得之	草市(秋田)	1935	紙・木版	45.5×59.2
4	勝平 得之	大漁盆踊	1947	紙・木版	39.4×80.0
5	勝平 得之	豊年盆踊	1948	紙・木版	40.0×127.0
6	勝平 得之	盆市	1946	紙・木版	39.8×79.8

◆第3展示室「洋画」ピックアップアーティスト「金沢 秀之助-心揺らす色彩」

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
1	金沢 秀之助	肉屋の店(寄託作品)	1952	キャンバス・油彩	162.0×130.3
2	金沢 秀之助	果樹	-	キャンバス・油彩	31.0×41.0
3	金沢 秀之助	風景Ⅲ	-	キャンバス・油彩	38.0×45.0
4	金沢 秀之助	海女	1960年初期	キャンバス・油彩	45.5×37.9
5	金沢 秀之助	布良海岸	1960頃	キャンバス・油彩	45.5×33.3
6	金沢 秀之助	布良海岸	-	キャンバス・油彩	27.3×45.5
7	金沢 秀之助	女性像(ギターと花)	-	キャンバス・油彩	72.7×60.6
8	金沢 秀之助	習作	-	キャンバス・油彩	100.0×80.3
9	金沢 秀之助	裸婦	1958頃	キャンバス・油彩	90.9×116.7
10	金沢 秀之助	果樹園の秋	1963	キャンバス・油彩	112.1×145.5
11	金沢 秀之助	作品	-	キャンバス・油彩	53.0×65.2
12	金沢 秀之助	非形象形態	-	キャンバス・油彩	90.9×72.7
13	金沢 秀之助	聖衆来迎	1963	キャンバス・油彩	130.0×97.0
14	金沢 秀之助	樹下弾琴	1966	キャンバス・油彩	130.3×97.0
15	金沢 秀之助	憩ふ海女達	1965	キャンバス・油彩	72.7×90.9
16	金沢 秀之助	奈良公園にて	1967	キャンバス・油彩	53.0×65.2

iii. 秋田のアートはここでみる!

ピックアップアーティスト「峯田 敏郎」

第3期 2008年10月16日(木)～2009年1月12日(月)

第1・第2展示室(6階):彫刻(峯田敏郎コレクション「刻みこまれる記憶」)

第3展示室(6階):日本画コレクション

担当:小笠原宏

第1展示室:彫刻 ピックアップアーティスト「峯田敏郎」①

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
1	峯田 敏郎	おんなー金沢ー	1990	テラコッタ	53.0×39.0×25.0
2	峯田 敏郎	おんなー函館ー	1991	テラコッタ	55.0×39.0×20.0
3	峯田 敏郎	記念撮影ー内陸縦貫鉄道・初めての旅ー	2005頃	樟・桂・着色	124.8×106.5×67.0
4	峯田 敏郎	芝居は終わった	1981-2	桂	182.0×180.0×60.0
5	峯田 敏郎	デッサンⅠ ※1	ー	紙・鉛筆・色鉛筆	38.5×26.7
6	峯田 敏郎	デッサンⅡ ※1	ー	紙・色鉛筆	38.8×26.7
7	峯田 敏郎	デッサンⅢ ※1	ー	紙・色鉛筆・水彩	38.5×26.7
8	峯田 敏郎	デッサンⅣ ※1	ー	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	66.5×47.0
9	峯田 敏郎	デッサンⅤ ※1	ー	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	48.5×66.5
10	峯田 敏郎	デッサンⅥ ※1	ー	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	43.5×31.1

※1印の作品は峯田氏より借用

第2展示室：彫刻 ピックアップアーティスト「峯田敏郎」②

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
11	峯田 敏郎	記念撮影ーきのう・きょう・あしたー	1996	桂・紅松・着色	260.0 × 230.0 × 130.0
12	峯田 敏郎	記念撮影ー塀ー	2000	樟・着色	170.0 × 450.0 × 80.0
13	峯田 敏郎	記念撮影ー私の住んだ街ー	1989-90	桂・紅松・着色	300.0 × 230.0 × 130.0
14	峯田 敏郎	記念撮影ー時の化石ー	1993	桂・紅松・着色	260.0 × 350.0 × 200.0
15	峯田 敏郎	デッサンⅦ ※1	1996	和紙・鉛筆・水彩	71.0 × 53.0
16	峯田 敏郎	デッサンⅧ ※1	—	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	48.3 × 66.5
17	峯田 敏郎	記念撮影ー5月のかたち ※2	1991	ブロンズ	250.0 × 320.0 × 90.0

※1 印の作品は峯田氏より借用。

※2 はパネル展示です。

第3展示室：日本画コレクション

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
1	沈 南蘋	鶴	1738	絹本着色	(2 幅) 各 110.0 × 50.0
2	小田野 直武	岩に牡丹図	1770 年代	絹本着色	48.3 × 72.7
3	佐竹 義躬	岩に牡丹	—	紙本着色	108.2 × 29.1
4	佐々木 原善	菊花に螭螂・牡丹に蝶	—	絹本着色	(対幅) 各 108.5 × 28.5
5	平福 穂庵	蝦蟇仙人	1874	紙本墨画淡彩	127.7 × 56.2
6	平福 百穂	法然上人	1922	紙本墨画淡彩	107.2 × 50.6
7	平福 百穂	杜鵑夜	1929	紙本墨画	126.0 × 59.0
8	寺澤 孝太郎	花鳥	—	絹本着色	165.0 × 79.0
9	寺崎 廣業	高山清秋	1914	絹本裏箔着色	(6 曲 1 双) 各 168.2 × 364.2
10	福田 豊四郎	案山子を立てる人	1931	紙本着色	176.0 × 70.4
11	福田 豊四郎	山の秋	1931	紙本着色	(6 曲 1 双) 各 166.5 × 374.4
12	高橋 萬年	収穫	—	紙本着色	(2 曲 1 隻) 167.6 × 211.6

iv. 秋田のアートはここでみる！

ピックアップアーティスト「伊藤彌太」

会期：2008 年(平成 21)1 月 23 日(金)～4 月 5 日(日)

第1展示室(6 階) 彌太奔る！(伊藤彌太コレクション)

第2展示室(6 階) 日本画の華

第3展示室(6 階) 風景のノスタルジー

担当：樫尾康子

第1室：「彌太奔る！」(洋画)

No.	作者名	作品名	制作年	技法	寸法
1	伊藤彌太	(作品)A	1954	油彩・キャンバス	91.0 × 61.0
2	伊藤彌太	(作品)C	1954	油彩・キャンバス	91.0 × 69.8
3	伊藤彌太	虚想	1958	油彩・キャンバス	62.8 × 91.4
4	伊藤彌太	作品 (3)	—	油彩・キャンバス	77.2 × 106.0
5	伊藤彌太	伝説の岩	1962	油彩・キャンバス	80.0 × 89.7
6	伊藤彌太	無題	—	油彩・キャンバス	100.0 × 80.1
7	伊藤彌太	作品	1965	油彩・キャンバス	100.0 × 80.3
8	伊藤彌太	(作品) I	1959	油彩・キャンバス	130.3 × 97.0
9	伊藤彌太	地平線/「(作品) I」画稿	—	墨・紙	16.0 × 24.5
10	伊藤彌太	芽	—	墨・水彩・紙	22.5 × 17.5
11	伊藤彌太	白い座/「作品 (3)」画稿	—	墨・紙	21.5 × 29.0
12	伊藤彌太	試作	—	墨・水彩・紙	20.0 × 12.8
13	伊藤彌太	仮装 (A) (B)	—	墨・水彩・紙	23.3 × 29.8
14	伊藤彌太	人住まぬ都会	—	墨・紙	24.0 × 18.0

No.	作者名	作品名	制作年	技法	寸法
15	伊藤彌太	瓦礫 (A)	—	墨・紙	25.0 × 17.3
16	伊藤彌太	絵画 (1)	—	墨・水彩・紙	20.7 × 16.7
17	伊藤彌太	生けるもの (水のコンポジション)	—	墨・水彩・紙	21.8 × 14.2
18	伊藤彌太	素描	—	墨・紙	19.0 × 24.0
19	伊藤彌太	素描	—	マジックインク・紙	24.8 × 33.3
20	伊藤彌太	素描	—	墨・紙	15.1 × 19.8
21	伊藤彌太	素描 (7)	—	墨・紙	19.0 × 26.8
22	伊藤彌太	素描 (4)	—	墨・紙	27.0 × 19.0
23	伊藤彌太	鉾山風景	昭和 20 年代	油彩・板	24.0 × 33.0
24	伊藤彌太	女の顔	昭和 20 年代	油彩・板	30.0 × 22.0
25	伊藤彌太	女の顔	—	鉛筆・紙	35.1 × 24.8
26	伊藤彌太	裸婦素描	—	鉛筆・紙	23.6 × 33.1
27	伊藤彌太	子供の素描	—	鉛筆・水彩・紙	35.6 × 24.1
28	伊藤彌太	子供の顔	—	墨・紙	20.1 × 15.1
29	伊藤彌太	自画像と梟	—	コンテ・紙	43.0 × 30.0
30	伊藤彌太	梟が見ている	—	墨・紙	40.8 × 31.2

第 2 室：「日本画の華」

No.	作者名	作品名	制作年	技法	寸法
1	平福穂庵	秋田風俗十二景屏風	1858	紙本着色	(六曲一雙)・各 157.2 × 368.4
2	小田野直武	芍薬花龍図	1770 年代	絹本着色	94.5 × 21.0
3	長山孔寅	梅下遊興図	1800 年代	絹本墨画淡彩	62.5 × 150.0
4	寺崎廣業	春秋	1905 頃	紙本金地着色	(六曲一雙) 各 180.0 × 370.0 ※ 1905 第 6 回異画会展
5	平福百穂	寒竹双鶴	1927	絹本金地着色	(六曲一雙)・各 166.2 × 362.2
6	石川大浪・孟高	ファン・ロイエン筆 花鳥図模写	1796	紙本着色	232.8 × 107.0
7	倉田松濤	松樹梅樹	1924	紙本墨画淡彩	各 136.0 × 53.0
8	福田豊四郎	冬漁 (八郎湖凍漁)	1941	紙本銀地着色	(四曲一雙)・213.8 × 374.6 1941 第 4 回新美術人協会展
《床の間展示》					
	平福百穂	白梅	-	絹本着色	(扇面)・29.0 × 55.0
	佐々木英	蒔絵飾箱「海麗」	1974	研出蒔絵	13.0 × 10.0 × 20.0

第 3 室：「風景のナスタル」(洋画・版画・彫刻)

No.	作者名	作品名	制作年	技法	寸法
1	田口省吾	桧木内川風景	—	油彩・キャンバス	21.9 × 26.9
2	大原省三	風景	1953	油彩・キャンバス	38.0 × 45.5
3	松本弘二	雄物川の冬	1973	油彩・キャンバス	91.0 × 116.7
4	内田慎蔵	雪女の道	1967	油彩・キャンバス	116.7 × 90.9
5	金子義徳	郊外	1991	油彩・キャンバス	193.9 × 97.0
6	伊藤博次	ある日	1973	油彩・キャンバス	116.7 × 80.3
7	山本正道	旅の記憶	1986	ブロンズ	20.0 × 126.0 × 44.0
8	安藤泉	楢円生活	1975	銅・銀	158.0 × 70.0 × 70.0
9	斎藤寅彦	時の跡 (I)	1983	油彩・キャンバス	116.7 × 90.9
10	葛西康	雪庭讃歌	1972	油彩・キャンバス	162.0 × 130.0
11	勝平得之	秋田十二景・新川橋	1938	木版・紙	22.6 × 29.6
12	勝平得之	秋田十二景・外濠夜景	1929	木版・紙	22.6 × 29.6
13	勝平得之	秋田十二景・雪の湖月濠	1931	木版・紙	22.6 × 29.6
14	勝平得之	秋田十二景・長堤早春	1939	木版・紙	22.6 × 29.6
15	勝平得之	千秋公園八景・雨の内濠	1937 (昭和 12)	木版・紙	22.6 × 29.6

教育普及事業

美術に対する理解を深めることができ、誰でもが気軽に利用できる親しみやすい美術館を目指して、講演会、美術館教室、美術館講座などを開催している。また、美術館事業に関する広報活動を行うとともに、ハイビジョンギャラリーでの郷土作家を扱った美術番組等の上映、美術館関係図書資料の提供や県内の美術情報の提供など、美術情報センターとしての役割を果たす多面的な活動を行っている。また、「あきたセカンドスクール」の一環として、美術館における学校の学習活動を促進している。また、平成 17 年度からは、来館が困難な地域の学校を対象に、「出前セカンドスクール事業」を行っている。なお、団体鑑賞者に対する作品解説や、解説員及び美術館ボランティアによる美術館案内・作品解説も実施している。

平成 20 年度 美術館教室・ワークショップ一覧：参加者 4 9 5 人

№	教室の種別・内容	期 日	対 象・定 員	講 師	日 数	参 加 者 数	担 当
1	年中行事親子美術教室Ⅰ こいのぼりをつくっちゃおう！	4 月 27 日（日）	園 児・小 学 生 と 保 護 者 10 組 （20 人程度）	当館学芸員	1	12 組 23 人	沼田仁・ 木村雅洋・ 小笠原宏
2	一般美術教室 ムッシュ R の絵画教室	5 月 24 日（土） 5 月 25 日（日） 6 月 8 日（日） 6 月 15 日（日）	高 校 学 生 以 上 一 般 20 人	佐々木良三（秋 田大学名誉教 授・国画会会 員）	4	22 人	木村雅洋・ 沼田仁・ 樫尾康子・ 小笠原宏
3	夏休み親子美術教室 「ブナの木でハンガーを つくろう！」	7 月 27 日（日）	小学生と保護 者 15 組 （30 人程度）	松井勲尚 （岐阜県立森 林文化アカデ ミー准教授）	1	11 組 25 人	木村雅洋・ 沼田仁
4	親子でワークショップ ピングーねんど教室	8 月 30 日（土） 8 月 31 日（日） 9 月 15 日（月） 各日ごと午後	園 児・小 学 生 と 保 護 者 25 組 （50 人程度）	当館学芸員	半 日 午 後	97 組 266 人	小笠原・ 山本丈志
5	一般美術教室 彫刻教室 レリーフをつくろう	9 月 7 日（日） 10 月 26 日（日）	高校生以上 一般 25 人	峯田敏郎 （彫刻家・国画 会会員）	2	14 人	沼田仁・ 木村雅洋・ 小笠原宏
6	横山津恵展 ワークショップ -花を描く-	10 月 19 日（日） 12 月 15 日（日）	一般 25 人	当館学芸員	1	30 人	山本丈志・ 樫尾康子
7	年中行事親子美術教室Ⅱ クリスマスオーナメント をつくっちゃおう！	12 月 7 日（日）	小学生と保護 者 15 組 （30 人程度）	当館学芸員	1	12 組 22 人	木村雅洋・ 沼田仁
8	年中行事親子美術教室Ⅲ 鬼のお面をつくろう！	1 月 12 日（月）	小学生と保護 者 15 組 （30 人程度）	当館学芸員	1	9 組 16 人	沼田仁・ 木村雅洋
9	福田豊四郎のデッサン力 展ワークショップ デッサン教室	3 月 8 日（日） 3 月 15 日（日）	小学生以上 一般 16 人	当館学芸員	1	32 組 36 人	樫尾康子・ 小笠原宏
10	日本画の見方&お宝拝見	12 月 21 日（日）	一般 30 人	河野元昭館長	半 日	41 人	沼田仁・ 木村雅洋・ 樫尾康子・ 小笠原宏

年中行事親子美術教室 1

「こいのぼりをつくっちゃおう！」

端午の節句である5月5日、「こどもの日」にちなみ実際に吊すことができる「こいのぼり」を制作した。幼児の身体よりも大きな画面に模様を描く場面では、子どもが主役となって思い思いに太い筆を存分に動かし、親子それぞれに色や形の工夫が見て取れる力作ができあがった。○、△、□の単純な形を組み合わせたものがあるかと思えば、海底の様子を描いたユニークなものまで見られた。次に布を筒状にしてヒレをつけ、口に針金の枠やヒモを通す骨格作りの仕上げまでは親の出番だ。そして完成後に野外で実際に吊してみる予定が雨のため、室内に変更、5階中央ホールへ移動した。天井のフックから手すりまで渡したヒモに12匹の大きな力作が吊されたときには見応えのある眺めに驚きの声があがり、参加者にとっては満足のいく取り組みになったようだ。



一般美術教室「ムッシュRの絵画教室」

国画会の会員で秋田大学の名誉教授も務めておられる、佐々木良三先生を講師にお迎えして開催した一般向けの絵画教室である。今回のテーマは「だれでもできる現代抽象画」で、偶然に生まれる効果の面白さを生かした抽象的な作品づくりに挑戦する。その制作方法は独特であり、最初に油粘土をパネルの大きさにのぼしてから、そこに機械の部品や木の端材、釘などで思い思いの模様を刻み込む。模様ができたら次は樹脂で型をとってパネルに貼り、最後にアクリル絵の具で着色して完成である。手順はその都度指示されていたので、最後までどんな作品ができるかわからないという今回の制作は、参加者にとって非常に新鮮な体験だったようだ。高校の美術部に在籍する生徒も多く参加していたが、普段筆などで「描く絵画」に親しんでいる人ほど、今回の「作る絵画」は斬新に感じたことだろう。尚この方法は、佐々木先生の絵の中にも応用されているそうである。また、制作の合間には抽象表現についてのレクチャーもしていただいた。美術館では、抽象画はよくわからないから苦手だという声を聞くことが度々あるが、今回の教室に参加された方々には、実際の制作と先生のお話を通して、抽象画に対する新たな見方が開かれたのではないだろうか。



夏休み親子美術教室「ブナの木でハンガーをつくろう！」

夏休みの親子美術教室は、岐阜県立森林文化アカデミーの松井勅尚先生を講師にお迎えして開催した。松井先生は、同校で木を題材に作ることを通しての環境教育を実践されており、今回参加者が挑戦するのは、ブナの木を材料にしたオリジナルのハンガーづくりである。まず初めに先生から、木の特徴と道具づくりについてたくさんの実物資料を交えながらお話をいただいた。その内容は面白くてわかりやすく、子供たちもいろいろな樹種のサンプルや実際に使われていた木の民具などに触れることで、普段何気なく見過ごしている身の回りの木に対しての興味がかきたてられていたようだった。お話を聞き、作りたい気持ちが高まったところで、いざ制作！ハンガーの衣服を掛ける部分には株式会社秋田木工から提供していただいたブナの曲げ木を用い、フックの部分にはブナの板材から切り出した形を使用する。デザインを考えたり着色をするのは子供たち、形を切り出して丹念に磨き上げるのは親の作業である。やがてそれぞれの子供たちの肩幅に合わせた、世界に一つだけのかわいらしいハンガーが完成した。最後はみんなで発表会を行い、作品に込めた子供たちの想いをそれぞれに語ってもらった。



親子でワークショップ ピンゲーねんど教室

「南極発！ピンゲーからのメッセージ！！」開催に合わせ実施した。カラー粘土を使って親子で楽しみながらピンゲーを作るという内容である。カラー粘土は一般のものより発色やまとまりのよい製品を用意し、プラスチック製の展示ケースも1組に一つ準備した。大人数を対象とすることから、5階中央ホールの床に画板を置き、カーペットの床に座った状態での制作となったが、広い空間で各家族が和やかに活動できたと思われる。粘土の性質のよさから、こねたり延ばしたりという作業が楽しく進められ、比較的簡単な手順できれいな仕上がりとなっていた。当日受付ということでお客さんの出足が心配されたが、受付開始すぐに行列となり、予定の2日間は十分な参加人数が得られた。そこで急遽3回目を実施し、合計97組、277人の参加を数えている。3回目の実施については広報期間が短かったにもかかわらず、前回と同様の人数が集まり、以後のワークショップ計画、広報の参考となっている。



一般美術教室 レリーフをつくろう

平成9年より毎年来ていただいている峯田敏郎先生（国画会会員・上越教育大学名誉教授）を今年度もお迎えし、彫刻教室を開催した。テラコッタ粘土を用いてレリーフ（浮き彫り）を制作し、焼き上がった作品へ着彩を施して仕上げるという内容である。毎年参加して下さるベテランの方から中学生まで、熱のこもった制作風景が見られた。今回は同時期に開催のコレクション展でもピックアップアーティストとして峯田先生の作品を多数展示している。教室の最後には展示室に移動し、先生とお話しながら作品鑑賞することができた。先生は自らの作品について語ることをあまり好まれないようだったが、参加者の実際に制作してみた体験に基づく質問に対しては、親身になって説明されていたことが印象に残る。先生の作品には細部を単純化しているところがあり、それに気付いた参加者の「自分では、つい細かく作りすぎてしまう」という発言があった。それに応えた「制作に勇み足は必要。納得するまで徹底してやった方がいい。」という先生の言葉には全員が頷いていた。



日本画ワークショップ「花を描く」

「横山津恵」展（郷土作家シリーズX）の開催を記念して開いたワークショップである。岩絵の具だけでなくアクリル絵の具やメディウム等の画材を併用して「花」を描いた。花は、持参した下描きやあらかじめ準備しておいた写真の中から選んでもらい、画面に直接トレースダウンする方法で進めた。初めて日本画の画材にふれる人や日本画教室で学んでいる人等受講者の経験に差はあったが、岩絵の具の美しさや風合いを楽しみながら制作していた。画面のサイズがハガキ大で描きやすいことやマットメディウムの利用により乾燥時間が短く着色の時間を十分とることができたので、完成度の高い作品が多かった。また、昼休みに展覧会を鑑賞し、改めて日本画の作品の素晴らしさを実感した方もおり、実際に描くことで見えてきたことや発見したことが個々にあったようでうれしく思った。

この教室は好評だったので12月に2回目を開催した。2回続けて受講した方も数名おり、関心の高さが伺えた。



年中行事親子美術教室Ⅲ

「クリスマスオーナメントをつくっちゃおう！」

昨年の12月頃、美術館にご来館された方々に当館学芸職員による手づくりの木製クリスマスオーナメントをプレゼントしていた。今回の教室は、この時のノウハウを季節の行事にあわせた親子美術教室として実施したものである。制作の手順は、木の端材に子供が描いた形を親が糸ノコギリで切り出し、面取りして着色するというシンプルなものであるが、使用する木の厚みや色の塗り方などに配慮をして行った。完成した作品には、簡潔な形の中に手作りの素朴な風合いと木のあたたかさがあり、ついついたくさん作りすぎてしまう親子も見られた。しかし、今後実施する際には完成作品への愛着を高める意味でも、一人あたりの制作数を絞り込んで、一つのオーナメントをじっくりと作り込むような内容で進めたいと思う。



年中行事親子美術教室Ⅳ「鬼のお面をつくろう」

節分にちなんで、オリジナルの鬼のお面を作ってみようという教室である。子供たちが考えたお面のデザインから親子で粘土の原型を作り、温めたプラスチックの板に形を写し取ってゆく。それにアクリルカラーで着色した後、ゴムひもを通してプラスチック製の鬼のお面が完成するのである。型取りは美術館の職員が行ったが、それ以外のデザイン、粘土による造形、着色と、参加された親子にとっては実にやる事が盛りだくさんの教室であった。手間はかかるものの、完成作品には祭りなどで売っているようなプラスチック製の鬼のお面に近い独特の質感があり、子供たちも自分が考えたお面がそのように仕上がったことに対して大いに満足していた。参加者にとっては、自分たちの作った形が瞬間的に別の素材に置き換わるという驚きが一番大きかったようだった。実施に際して、作る内容や素材、制作の手順などの改善するべき点がいくつかあったが、今後もこのような素材転換の面白さを生かした魅力的なものづくりの機会を提供できるよう、検討を重ねてゆきたい。



デッサン教室

「福田豊四郎のデッサン力展」の開催にあわせて、「自画像」をテーマに実施した。デッサンに興味のある人が多く、たくさんの申し込みがあったため2回開催することとなった。小学生から高校生、70歳代の方まで幅広い年齢層の方が参加してくれた。

鉛筆、色鉛筆、ダーマトグラフ、パステル等の描画材やクロッキーペーパー、画用紙、ビバルデ、ワトソン紙等の用紙を使って制作した。小さな子どもたちが素直な表現でのびのびと描いているのが印象に残る。また、2回目は高校生の参加が多数あり、全体的にパワーのある作品が多くみられた。今回の続きを希望する声もあり、若い世代を取り込んだ活気ある教室、基礎を学べる教室を検討し実施していきたい。



なごみのヴィオラコンサート 「～心しみじみ～生誕100年斎藤清展」 開催記念

日 時：2008（平成 20）年 6 月 1 日（日） ①午後 1 時～
②午後 2 時 30 分～

場 所：5 階中央ホール

出 演 者：坂本陽子氏（ヴィオラ）、西村智子氏（ピアノ）

観覧者数：163 名

演奏曲目：アンドレ・ギャニオン／明日

アイルランド民謡／ロンドンデリーの歌

マスカーニ／カヴァレリア・ルスティカーナより間奏曲 ほか



ファミリーコンサート in びじゅつかん

日 時：2008（平成 20）年 8 月 14 日（木） ①午後 1 時～
②午後 2 時 30 分～

場 所：5 階中央ホール

出 演 者：松渕啓子氏（クラリネット）、稲村洋之（ピアノ）

観覧者数：184 人

演奏曲目：アメイジング・グレイス

成田為三／浜辺の歌 ほか



聖霊高校ハンドベル部 ミュージアムで、ふれあいコンサート

日 時：2008（平成 20）年 10 月 25 日（土） 午後 2 時～

場 所：5 階中央ホール

出 演 者：聖霊女子短期大学附属高等学校ハンドベル部

観覧者数：119 人

演奏曲目：夕やけこやけ、ふるさと ほか



「日本画の時代展」 記念事業

「日本画の見方＆お宝拝見！」

河野元昭美術館館長の提案により実現となった新企画である。6 階研修室を会場に前半は河野館長より「日本画の見方」についてエピソードを交えながらの講演となった。幾つかの作品の拡大画像を紹介したが中でも、一度真筆では言われながら、落款や印章をよく調べると贋作に落ちていたという尾形光琳の作品は参加者の注目が集まった。後半はいよいよお宝拝見である。予想はしていたものの全体 14 点の中には本県を代表する画家の作品も多く出品され、平福穂庵が 3 点、百穂が 3 点そして、寺崎廣業が 3 点にのぼり盛会となった。一点一点参加者 41 名とともに見て歩いたが、解説には館長に加え当館学芸班の太田・山本の両名が協力した。中には時間をかけたやりとりもあり終了予定時刻を超過してしましたが、鑑賞の合間に展示した落款についての書籍を参考にできたり、実物を見ながらの具体的な技法や材料の詳しい話はたいへん参考になったとの感想が聴講者から寄せられた。



美術館講座・美術講演会

美術の鑑賞と理解を深めるために、河野元昭館長が「平安前期の美術」で美術史講座で8回、田中日佐夫名誉館長が「秋田の作家と『院展』」で講演会を実施した。また、秋田市の秋田県生涯学習センターを会場に、館長が4回の講演会を開催した。詳細は次のとおりである。

◇美術館講座「日本美術史講座」

「平安前期の美術」館長河野元昭

全8回、登録受講者数 74名、延べ受講者数 272名（6F 研修室）

- ① 5月25日 新薬師寺薬師如来坐像と神護寺薬師如来立像
- ② 6月22日 東寺講堂諸像
- ③ 7月27日 観心寺如意輪観音菩薩坐像と法華寺十一面観音菩薩立像
- ④ 10月19日 勝常寺薬師如来坐像と黒石寺薬師如来坐像
- ⑤ 11月16日 薬師寺八幡三神坐像と熊野速玉大神坐像
- ⑥ 1月25日 伝真言院曼荼羅と高雄曼荼羅
- ⑦ 2月22日 西大寺十二天像と園城寺黄不動像
- ⑧ 3月 8日 東寺真言七祖像と請来宋仏画

◇美術講演会

「横山津恵展記念事業 講演会・座談会」

講師：名誉館長田中日佐夫

パネラー：恵花会のみなさん

10月5日（日）（6F 研修室） 受講者数 52名



◇県生涯学習センター（連携ゼミ）

バラエティアートゼミ 4回

講師館長河野元昭 参加者延べ 166名

◇特別企画展記念事業（宮城県美術館所蔵名作選）

①特別企画展記念ギャラリートーク

講師 原田 敦子（宮城県美術館学芸員）

日時 平成20年6月21日（土）

会場 5階展示会場

参加者 42名

②特別企画展記念講演会

講師 西村 勇晴（宮城県美術館副館長）

日時 平成20年7月13日（日）

会場 6階研修室

参加者 54名



美術館ボランティア (AMC ‘アムック’ Akita Museum Cooperator)

秋田県立近代美術館におけるボランティア活動は、生涯学習振興の考えに基づき導入され、その活動を通して各自が学習し、その成果を実践に移すことを目標にすると共に、県民と美術館の懸け橋として、より多くの人々に親しまれる身近で開かれた美術館作りを目指している。

活動は、1 カ月に 1 日(又は半日を 2 回)以上の活動日を各個人が定め、1 年間継続することを原則とし、新会員に対しては事前研修を行い 4 月より実際の活動に入ってもらった。活動内容は、案内受付活動、資料整理・印刷物の発送準備作業など事務補助活動、野外彫刻作品の清掃などの他、会員への毎月の会報作成や、他県美術館における研修なども行っている。

◆会員数・活動内容

1 会員数 107 名

2 活動内容

① 案内受付活動

- i 館内案内、誘導（館内各施設、順路ほか）
 - ・身障者、老人、子供対応
 - ・団体の整理、誘導
 - ・非常時の誘導
- ii 美術鑑賞マナーの普及活動
- iii 資料配付（リーフレット、作品解説チラシほか）
- iv 質問対応（展示資料、美術館の概要、観光、道路、交通機関など）

② 事務補助活動

- i 印刷物発送準備作業（ポスター、チラシ、美術館ニュースほか）
- ii 図書・新聞等の資料整理

③ 自己研修

- i ハイビジョン鑑賞（番組、データベース）
- ii ビデオ鑑賞
- iii 館蔵作品の研究（図書資料室）
- iv 鑑賞学習会（ギャラリートーク）、ワークショップ等への参加

④ その他の活動

- i ふるさと村内での P R 活動（特別企画展など）
- ii ミュージアムコンサートの手伝い
- iii 講演会準備の手伝い
- iv 野外彫刻の清掃
- v 印刷物（AMC の声、AMC 通信など）の作成・発行

◆おもな関連行事

- ① 鑑賞学習会（企画展 6 本、コレクション展 4 本で各 1 ～ 2 回）
- ② 役員会（13 回）
- ③ 講演会・美術館講座・コンサートへの参加
- ④ 研修旅行（10/26 宮城県美術館）
- ⑤ 交流会（6/21 ,1/25 美術館 7 階展望室）
- ⑥ 新会員研修講座（3/8）
- ⑦ 総会（3/8）

博物館実習

期間：2008（平成20）年10月6日（月）～17日（金） 実質9日間

大学生5名受講

内容：「美術作品、資料の取扱、整理、保存」「美術に関するレポートの作成」その他

ハイビジョンソフトウェア制作

ハイビジョンギャラリーでは、所蔵品及び世界の名品を高精細大型映像で鑑賞することと、所蔵品の画像や解説等の情報を自由に検索することができるが、そのためのソフトウェアを継続して制作している。

◇静止画番組のタイトル

◇ 2007（平成 19）年度制作なし

◇ 2006（平成 18）年度までの制作（23 タイトル）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 時代の先駆者 平福穂庵 | 13 昭和の書家 松井如流 悠久の美 |
| 2 気韻生動の画家 平福百穂 | 14 横山津恵 清新な美の軌跡 |
| 3 福田豊四郎 新日本画をめざして | 15 近代日本画の巨匠 寺崎広業 |
| 4 自然と人間への憧憬 福田豊四郎 | 16 魂との対話 高田博厚 |
| 5 勝平得之 木版画の世界 雪国の風俗 | 17 佐々木英一 彩切貝・蒔絵の小宇宙 |
| 6 洋風画の泰斗 小田野直武 近代の予兆 | 18 光と風の中でー彫刻の四季ー |
| 7 所蔵日本画名作撰 | 19 小西正太郎 画家と女神たち |
| 8 所蔵彫刻名作撰 彫刻への誘い | 20 ようこそ美術館へ！ |
| 9 所蔵彫刻名作撰 彫刻との対話Ⅰ | 21 秋田洋画壇の先駆者たち |
| 10 所蔵彫刻名作撰 彫刻との対話Ⅱ | 22 馬場彬 僕のグレーこそ美しい |
| 11 勝平得之 木版画の世界 豊作への歩み | 23 伊藤弥太 あくなき絵画の求道者 |
| 12 鍛金の巨匠 関谷四郎 | |

◇購入ソフト

- 1 美術のたのしみ（10 タイトル）
- 2 エルミタージュ美術館Ⅰ・Ⅱ（20 タイトル）
- 3 オルセー美術館Ⅰ・Ⅱ（18 タイトル）
- 4 フィレンツェ・ルネサンスⅠ（8 タイトル）
- 5 日本で見られる 19 世紀フランス美術（20 タイトル）
- 6 パリで見られる 19 世紀フランス美術（10 タイトル）
- 7 印象派展覧会（8 タイトル）
- 8 連作の地力（12 タイトル）
- 9 都市の表情（4 タイトル）
- 10 日本絵画の至宝 絵画編 第2巻（30 タイトル）

◇所蔵品データベース

平成 19 年度入力 5 点
平成 18 年度までの入力 1070 点

※平成 17 年度に上記ハイビジョンソフトを有効活用すべく、大幅なハイビジョン機器システムの更新を完了した。

秋田県立近代美術館名品展

きて、みて、美術館！

会期：2008年9月20日(土)～28日(日)

主催：秋田県・秋田県教育委員会・秋田県立近代美術館

共催：鹿角市・鹿角市教育委員会・鹿角市花輪市民センター

会場：鹿角市花輪市民センター

担当：太田和夫、木村雅洋

平成13年から始まった県北地区での名品展も今年ではや9回目となった。今回は大館市、能代市、八森町(現八峰町)以外では初となる、鹿角市の花輪市民センターでの開催である。展示会場では勝平得之を中心に、地元出身の相川善一郎や柴田春光などの大館・鹿角地区の作家たちを含めた、17名による40点の作品を展示した。会期中には1,684人の方々が会場に足を運ばれ、得之の素朴かつ繊細な表現の版画や春光の描いた昔の毛馬内の風景などをじっくりと鑑賞されていた。実施したアンケートでは「横手は遠くてめったに行けないので嬉しい」と、名品展の開催を喜ばれる声が多く、県北各地域における根強い美術ファンの存在と、展示会へのニーズの高さを感じることができた。

また、今回応募された10名のボランティアと花輪市民センターの方々には、会場での案内や資料の補充等でご協力いただいた。その丁寧な対応はお客様にも好評で、このような多くの方々のご援助、ご協力によって名品展が成り立っていることも忘れずに記しておきたい。



No.	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
<版画 22作品>					
1.	勝平得之	〈花四題〉春(ツバキ)	1938	紙・板目木版	67.2 × 36.9
2.	勝平得之	〈花四題〉夏(ハス)	1938	紙・板目木版	67.2 × 36.9
3.	勝平得之	〈花四題〉秋(菊)	1939	紙・板目木版	67.2 × 36.9
4.	勝平得之	〈花四題〉冬(なんてん)	1939	紙・板目木版	67.2 × 36.9
5.	勝平得之	秋田風俗十題・いろり	1939	紙・板目木版	29.0 × 40.4
6.	勝平得之	秋田風俗十題・かまど	1940	紙・板目木版	29.0 × 40.4
7.	勝平得之	秋田風俗十題・うまや	1940	紙・板目木版	29.0 × 40.4
8.	勝平得之	秋田風俗十題・ドッタ	1940	紙・板目木版	29.0 × 40.4
9.	勝平得之	秋田風俗十題・リンゴ	1940	紙・板目木版	29.0 × 40.0
10.	勝平得之	秋田風俗十題・はり	1941	紙・板目木版	29.0 × 40.0
11.	勝平得之	秋田風俗十題・まゆだま	1941	紙・板目木版	29.0 × 40.0
12.	勝平得之	秋田風俗十題・ささまき	1942	紙・板目木版	29.0 × 40.4
13.	勝平得之	秋田風俗十題・みづき	1943	紙・板目木版	29.0 × 40.4
14.	勝平得之	秋田風俗十題・かきだて	1943	紙・板目木版	29.0 × 40.4
15.	勝平得之	奥入瀬の秋	1931	紙・板目木版	29.2 × 39.0
16.	勝平得之	十和田湖発荷峠	1931	紙・板目木版	29.5 × 38.0
17.	勝平得之	雪国の市場	1931	紙・板目木版	29.2 × 42.7
18.	勝平得之	かまくら	1955	紙・板目木版	39.5 × 140.0
19.	勝平得之	ナマハゲ(男鹿)	1940	紙・板目木版	(左右)39.7 × 15.0 (中)39.7 × 29.7
20.	勝平得之	河畔雪景	1934	紙・板目木版	37.6 × 52.2
21.	勝平得之	五月の街	1933	紙・板目木版	45.2 × 57.7
22.	勝平得之	収穫	1933	紙・板目木版	37.6 × 52.5

No.	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (cm)
<油絵 4 作品>					
23.	濱松小源太	作品	1930 年代後半	キャンバス・油彩	80.3 × 60.6
24.	内田慎蔵	枯れ葉一葉	1975	キャンバス・油彩	90.7 × 116.7
25.	伊藤弥太	象潟の初夏	1969	キャンバス・油彩	115.5 × 162.1
26.	奈良清四郎	閉山した陸中の鉱山	1978	キャンバス・油彩	131.5 × 181.5
<彫刻 3 作品>					
27.	相川善一郎	墓守	—	ブロンズ	39.0 × 28.0 × 22.0
28.	堀内正和	摩止訶俱天狗	1968	ブロンズ	45.0 × 23.0 × 54.0
29.	峯田義郎	旅・ひとり	1993	ブロンズ	72.0 × 118.0 × 26.0
<工芸 2 作品>					
30.	佐々木英	蒔絵箱「月歌」	1979	桐・夜光切貝研出蒔絵	高 13.0 × 10.0 × 20.0
31.	関谷四郎	接合横線壺	1968	接合・鍛金・鍍金・鉄・銅・金	径 20.0 × 高 20.0
<日本画 9 作品>					
32.	平福穂庵	緑蔭清談	1886	紙本墨画淡彩	150.0 × 79.2
33.	平福百穂	清江	1931	紙本墨画淡彩	50.8 × 61.7
34.	平福百穂	古柏栗鼠	—	絹本着色	135.5 × 45.0
35.	寺崎廣業	白馬山八題（山頭団雲）	1917	紙本着色	57.9 × 89.2
36.	柴田春光	狭布の里	1928	絹本着色(2 曲 1 隻)	160.4 × 226.8
37.	福田豊四郎	雪国	1968	紙本着色(4 曲 1 隻)	168.7 × 255.6
38.	福田豊四郎	樹氷	1937	紙本着色(4 曲 1 隻)	210.5 × 371.0
39.	奈良裕功	桃実る	1920 年代	絹本着色(2 曲 1 隻)	174.0 × 201.0
40.	高橋萬年	田	1951	紙本着色(2 曲 1 双)	各 168.8 × 170.2

◇掲載記事

秋田魁新報 9/19・24
河北新報 9/19
読売新聞 9/9
米代新報 8/8・9/21
北鹿新報 9/21

ネットワーク事業 （共催：秋田県立近代美術館、秋田県立図書館）

福田豊四郎 文学を描く ―絵本の原画・小説の挿絵―

会場：秋田県立図書館 2階特別展示室

会期：2008年12月9日(日)～2009年1月25日(日)

展示作品 絵本原画 : 木下順二・文「夕鶴」
小説挿絵原画：三浦綾子「氷点」 井上 靖「あした来る人」
今 日出海「チョップ先生」 沢野久雄「火口湖」(約50点)

関連事業 ふるさとセミナー わが秋田の美術散歩(講座)
・会場／日時 秋田県立図書館3階多目的ホール 2009・1/14(水)13:30～
・担当：太田和夫

入場者数 3,099 人

美術館のセカンドスクールの利用

◆概 況

	セカンドスクールの利用					総利用 学校数	総利用 人 数
	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校		
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	5	3	1	0	9	435
6月	0	6	3	0	0	9	311
7月	0	2	1	0	0	3	118
8月	0	0	1	0	1	2	133
9月	4	19	1	1	0	25	1,037
10月	0	2	0	1	1	4	212
11月	0	8	0	0	0	8	651
12月	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0
2月	1	0	0	0	0	1	30
3月	0	1	0	0	0	1	26
合計	5校 (144人)	43校 (2,350人)	9校 (234人)	3校 (65人)	2校 (164人)	62校	2,957人
総計	平成20年度 62校 (2,957人)						
	平成19年度 91校 (3,739人)						
	平成18年度 104校 (3,845人)					幼稚園 7校	355人
	平成17年度 135校 (5,095人)					幼稚園12校	638人
	平成16年度 143校 (4,666人)					幼稚園16校	633人
	平成15年度 97校 (3,519人) ※この年から幼稚園等含む					〃 3校	280人
	平成14年度 121校 (6,491人) ※幼稚園は対象外					〃 25校	1,216人
	平成13年度 67校 (4,365人) 〃					〃 0	
	平成12年度 44校 (2,355人) 〃					〃 19校	1,154人
	平成11年度 24校 (1,426人) 〃					〃 0	

◆利用校

平成20年度セカンドスクール利用校一覧

桜小学校	豊岡小学校	山内小学校	高瀬中学校
川尻小学校	中仙小学校	阿気小学校	羽後中学校
土崎南小学校	太田北小学校	山田小学校	勝平養護学校
仁井田小学校	南檜岡小学校	湯沢北小学校	横手養護学校
河辺小学校	仙南東小学校	稲庭小学校	横手高等学校
追分小学校	横手南小学校	横堀小学校	湯沢高等学校稲川分校
新山小学校	美郷町立金沢小学校	東成瀬小学校	太田みなみ幼稚園
高瀬小学校	横手市立金沢小学校	五城目第一中学校	土屋幼稚園
大川西根小学校	浅舞小学校	中仙中学校	上宮第一幼稚園
神宮寺小学校	横手市立南小学校	仙南中学校	上宮第二幼稚園
刈和野小学校	大森小学校	金沢中学校	浅舞感恩講保育園
大沢郷小学校	白山小学校	横手南中学校	(出前セカンドスクール)
清水小学校	植田小学校	山田中学校	鷹巣小学校
四ツ屋小学校	睦合小学校	三輪中学校	前田小学校

◆領 域

・図工科、美術科、生活科、社会科、総合的な学習

◆内 容

・企画展・コレクション展の作品鑑賞(鑑賞用シート等の利用)

- ・ 野外彫刻の鑑賞・美術館「探検」
- ・ 土粘土作り、木で作る川原の石、ローラーで描く大きな絵、粘土による制作 等
- ・ インターンシップ、ボランティア活動

※平成 15 年度から幼稚園等もセカンドスクールの利用統計の対象となった。

■出前セカンドスクール

学校に出向いて行う「出前セカンドスクール」は、本年度で 4 年目を数える。児童が親しみをもてる絵画、彫刻、版画を選んで展示したほか、遊びながら造形に親しむことができる木製オブジェも設置した。2 校とも各学年ごとに特設時間割での授業を行ったが、油彩画の鑑賞の際、作成したセルフガイドを効果的に活用することができた。

・ 北秋田市立鷹巣小学校	11 月 11 日・12 日	SS323 人＋保護者等 92 人
・ 北秋田市立前田小学校	11 月 13 日	SS93 人＋保護者等 78 人

収集事業 美術品収集

収集方針

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品や資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の作品や資料

◆美術品等収集状況(平成20年度末まで)

種 別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄 贈	他施設から所管替	合 計
秋 田 蘭 画	6	0	1	5	12
東 洋 画	0	0	1	1	2
日 本 画	224	31	164	166	585
洋 画	51	148	132	70	401
版 画	11	34	92	69	206
彫 刻	124	12	20	5	161
工 芸	29	1	7	1	38
書	13	7	179	2	201
デ ザ イ ン	0	0	2	6	8
写 真	1	0	0	0	1
素描・下絵・資料等	15	0	140	12	167
合 計	474	233	738	337	1782

◆2008(平成20)年度収集

種 別	県美術品取得基金	寄 贈	他施設から所管換	合 計
秋 田 蘭 画	0	0	0	0
日 本 画	3	2	1	6
洋 画	0	0	0	0
版 画	0	0	0	0
彫 刻	1	0	0	1
工 芸	0	0	0	0
書	0	28	0	28
写 真	1	0	0	1
素描・下絵・資料等	1	4	0	5
合 計	6	34	1	41

①県美術品取得基金による収集

No.	種 別	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	日本画	高橋萬年	白 梅	—	紙本着色・額装	85.5×107.0
2	日本画	小野崎大凌	春秋遊鹿花鳥図	—	紙本着色・6曲1双	131.0×301.8
3	日本画	平福百穂	巖頭千鳥・秋草図	—	紙本着色・襖絵	各177.0×89.8
4	彫刻	松田芳雄	ふくろう	2008	ブロンズ	H60.0×w85.0×D50.0
5	資料	長瀬直諒	舞台美術資料一括	—	紙本・鉛筆・水彩ほか	
6	写真	千葉禎介	写真一括	—	印画紙・モノクローム工芸	

②寄贈による収集

No.	種 別	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	日本画	松岡玉峰	鷹図	—	紙本着色6曲屏風	125.0×47.5(各本紙)
2	書道	松井如流	花竹秀 28作品	1987	紙・墨 額装	150.0×71.0 ほか

No.	種 別	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (cm)
3	日本画	横山津恵	草の上	1953	紙本着色 額装	125.5×119.0
4	資料	横山津恵	横山津恵関係書簡 39点	—		
5	素描	峯田敏郎	デッサン 2点	1996	紙・鉛筆・水彩	
6	資料	横山津恵	日本画画材一式	—	岩絵の具ほか	

図書資料分類冊数一覧 2009(平成 21)年 3 月 31 日現在

分 類		平成20年度新収図書	分類別合計
一般図書	美術総記	39	1,389
	日本美術	28	2,585
	西洋美術	7	669
	東洋、その他の美術	0	166
	秋田資料	18	561
関係諸学		55	793
所蔵品図録、研究報告、年報		159	2,742
展覧会図録		293	5,840
美術雑誌他		570	6,193
		1,169	20,938

美術品保存・修復

◆野外彫刻のメンテナンス

実施期日：2008(平成20)年7月25日(金)～7月28日(月)

野外彫刻 32 体について彫刻本体、台座及びプレートを洗浄したほか、下記の作品についてコーティング等のメンテナンスを行った。

No.	作家名	作品名	メンテナンス内容
1	相川善一郎	声良鶏	着色フッソコーティング、プレート基板埋設
2	簀内佐斗司	犬も歩けば・IN AKITA	着色フッソコーティング
3	フラナガン	鐘の上で飛び跳ねる野兎	ローワックスの補充
4	黒川晃彦	フラワーソング	着色フッソコーティング、プレート文字色入れ
5	柳原義達	風の中の鴉	着色フッソコーティング
6	柳原義達	道標・鴉	着色フッソコーティング
7	朝倉響子	ローリー	腰掛け黒台座ペイント
8	清水九兵衛	登甲	ペイントにより補色及びスプレー塗装
9	雨宮敬子	想秋	着色フッソコーティング
10	高田洋一	白い羽音	羽の手洗いとステンレス部分の磨き
11	遠藤洪平六	こんにやく石ー浮遊する虚体' 93- I ー	サビ部分のペイントによる補修
12	工藤 健	愛の変容	地山地下のヤスリ掛け、着色フッソコーティング、プレート文字色入れ
13	工藤 健	憩えるマンドーラ	ー
14	峯田敏郎	記念撮影ー五月のかたちー	着色ローワックス補充、プレート文字色入れ
15	堀口泰造	カルメン	落色部分に補充、プレート文字色入れ
16	堀口泰造	平和が来る	着色ローワックス補充、プレート文字色入れ
17	笹戸千津子	シャツブラウス	ー
18	岩野勇三	にけ	ー
19	高田博厚	水浴	ローワックス補充
20	チェリーナ	アドリアナ	ー
21	淀井敏夫	ローマの公園	着色ローワックス補充、プレート文字色入れ
22	小田 襄	円形の記憶	中性洗剤による手洗い
23	建畠覚造	WAVING FIGURE	中性洗剤による手洗い
24	三木富雄	EAR	プレートのサビ落とし
25	内田晴之	異・空間 1993	ペイントによる落飾部分の補色
26	千葉精一	祈念童子・童女	ー
27	下川昭宣	楽園	化学タワシによる擦り傷消し、プレート文字色入れ
28	澄川喜一	TO THE SKY	プレート文字色入れ
29	安藤 泉	大地の鼓動	鳥の巣除去
30	安藤 泉	悠久	プレート文字色入れ
31	安藤 泉	好奇心	鳥の巣除去
32	野口裕史	天空伝説「来訪者」	プレートの埋設、コーティング

調査・研究

太田和夫

- 講座 「秋田の近代美術を語る」秋田ふるさとセミナー 秋田県立図書館,2009年1月14日
「県庁出前講座 地方画人の系譜」保戸野地区高齢者学級学習会 保戸野地区コミュニティーセンター、2009年1月16日
- 作品解説 「作品解説 30点」『宮城県美術館所蔵名作選 近代洋画の軌跡』（展覧会図録）秋田県立近代美術館、2008年6月21日
- 論文 「幕末から明治へー平福穂庵、作風の変化」『秋田美術 No.45』秋田県立近代美術館、2009年3月27日、pp15-24

山本文志

- 作品解説 「作品解説」『近代洋画の軌跡 宮城県美術館所蔵名作選』（展覧会カタログ）、秋田県立近代美術館、2008年6月、p21,pp45-65 21作品
- 作品解説 「小田野直武 不忍池図」『日本の美Ⅲ 日本の四季 春夏』、美術年鑑社、2008年9月30日、pp70-71
- 論文 「闇の中のヴィーナス 日本画家横山津恵についての試論」『横山津恵展』（展覧会カタログ）、秋田県立近代美術館、2008年10月、pp12-16
- 作品解説 「作品解説」『横山津恵展』（展覧会カタログ）、秋田県立近代美術館、2008年10月、pp61-81 53作品
- 資料作成 「横山津恵年譜、関係文献目録、展覧会出品作品リスト、秋田県立近代美術館所蔵作品目録」『横山津恵展』（展覧会カタログ）、秋田県立近代美術館、2008年10月、pp82-91,pp92-97,pp98-113,pp114-125
- 講座 「花を描く」、横山津恵展ワークショップ（日本画、洋画）、秋田県立近代美術館、2008年10月19日・12月14日
- 作品解説 「ギャラリートーク 横山津恵展上」『秋田魁新報』、2008年10月2日
- 作品解説 「ギャラリートーク 横山津恵展中」『秋田魁新報』、2008年10月9日
- 作品解説 「ギャラリートーク 横山津恵展下」『秋田魁新報』、2008年10月16日
- 講座 「美術のお仕事」、夢体験キャリア講座、横手市立雄物川中学校、2008年12月11日
- 作品解説 「秋田の名画」『秋田魁新報』、2009年1月1日 ※富嶽図、不忍池図、唐太宗花鳥山水
- 講座 「近代日本画の巨匠たち」、北秋田市中央公民館、2009年1月8日
- 作品解説 「ギャラリートーク 日本画の時代展上」『秋田魁新報』、2009年1月15日
- 講座 「秋田蘭画」、由利コミュニティーセンター『善隣館』（由利本荘市）、2009年1月22日
- 論文 「福田豊四郎の十代ー遺されたスケッチが語るもの」『秋田美術 No.45』（紀要）、秋田県立近代美術館、2009年3月27日、pp7-14

木村雅洋

- 作品解説 「日本画の時代展」『河北新報』、2008年12月18日
- 作品解説 「ギャラリートーク 日本画の時代展下」『秋田魁新報』、2009年1月29日

栗原美奈子

- 資料作成 「2008年県内美術展開催一覧(1~12月)」『秋田美術 No.45』、秋田県立近代美術館、2009年3月27日、pp25-34

佐々木直子

- 作品解説 「作品解説」『横山津恵展』（展覧会カタログ）、秋田県立近代美術館、2008年10月、pp76-80 11作品

美術品の貸し出し

No.	作品名	貸出先	貸出期間	展覧会名等
1 ～ 22	「自画像」 藤田嗣治外 21 点	(財) 平野政吉美術館	7/16 ～ 09. 2/16	1930 年フジタの素描展
23	「緑衣の女の肖像」 小西正太郎	美郷町学友館	7/24 ～ 9/9	小西正太郎写真展
24	「裸婦習作」	〃	7/26(土) ～ 9/7(日)	
25	「婦人像」	〃		
26	「ガラス乾板写真」	〃		
27	「オペラ座の夢」 藤田嗣治			
28	「喧嘩」	〃		
29	「図案集」 杉浦非水			
30	「秋田のマリア」 福田豊四郎	東京富士美術館	9/20 ～ 12/20	Happy Mother,Happy Children 10/4(土) ～ 12/14(日)
31	「奥州街道並久保田藩内沿道写生帖」 白雲	岩手県立博物館	9/22 ～ 12/12	『日本名山図会』と川村寿庵 10/11(土) ～ 11/24(月)
32	「富士(倉澤眺望)」	〃		
33	「神語」 平福百穂	読売書法会	10/12 ～ 11/10	東北に生きた文人・墨客展
34	「青銅器」 赤星藍城			10/22(水) ～ 26(日)
35	「晩夏(A)」 山形八郎	出納管財課	10/27～09. 4/21	県庁舎
36	「風俗図屏風」 倉田松濤	仙北市立角館	2/1 ～ 4/30	歿後80年倉田松濤展
37	「山水図」	〃	平福記念美術館	2/14(土) ～ 4/5(日)
38	「アイヌ図」	〃		
39	「花鳥図」	〃		
40 ～ 61	「なまず」 藤田嗣治外 21 点	(財) 平野政吉美術館	09.2/17 ～ 9/18	1930 年フジタの素描展
62	「富嶽図」 小田野直武	府中市美術館	2/24 ～ 5/31	山水に遊ぶー江戸絵画の風景
63	「岩に牡丹」	〃		250 年展 3/20(金) ～ 5/10(日)
64	「法然上人」 平福百穂	東京都美術館	3/25 ～ 7/31	日本の美術館名品展
65	「秋田のマリア」 福田豊四郎			4/25(土) ～ 7/5(日)
66	「秋立つ」 荘司 福	神奈川県立近代美術館	3/29 ～ 6/27	荘司 福展
67	「温室」	〃		4/11(土) ～ 6/14(日)
68	「祈り」	〃		
69	「萌炎」	〃		
70	「季」	〃		

刊行物

◆ARK(アーク、秋田県立近代美術館ニュース)

秋田県立近代美術館では、展覧会の概要やさまざまな美術館活動などの広報を目的とし、美術館ニュース「ARK」を年4回発行している。「ARK」とは、ラテン語で「箱」を意味する言葉で、『聖書』では、ノアが大洪水から逃れた箱船のことをさす。当館の外観が“空中に浮遊する巨大な箱船”に見えることから命名された。

平成20年度よりデザインを親しみやすいものに改変し、発行を年2回とした。

No.56 2008年11月30日発行 A3 二つ折り 4頁

展覧会レポート：「宮城県美術館所蔵名作選」、「心しみじみー生誕100年斎藤清展」

トピックス：一般美術教室報告「ムッシュRの絵画教室」、セカンドスクール

平成20年度上半期レポート、インフォメーション

No.57 2009年3月31日発行 A3 二つ折り 4頁

展覧会レポート：「風薫る、花香る、ヴィーナスたち。横山津恵展」、「大観、廣業、半古、時代を彩った巨匠たちー日本画の時代展」

トピックス：一般美術教室報告「レリーフをつくろう」、セカンドスクール

平成20年度下半期レポート、インフォメーション

◆秋田美術 第45号 附. 2006・2007年度秋田県立近代美術館年報 2009年3月27日発行 A4 56頁

秋田県の美術や美術教育、そして展覧会等に関する調査・研究活動の成果を論文として集約するとともに、秋田県内の美術界の動きを総括し、県内美術館、ギャラリー等の展覧会開催状況をまとめている。

◆秋田県立近代美術館2008こどもセルフガイド「ビジュツのギジュツ」2009年1月発行 A5 表カラー裏黒1色、16枚リング綴じ

平成20年度文化庁芸術拠点形成事業（ミュージアムタウン構想の推進）

◆展覧会図録・パンフレット

特別企画展「生誕100年斎藤清展」図録

2008年4月26日発行 A4 162頁

特別企画展「宮城県美術館所蔵名作選 近代洋画の軌跡」図録

2008年6月21日発行 A4 68頁

特別企画展「風薫る、花香る、ヴィーナスたち 横山津恵展 郷土作家シリーズX」図録

2008年10月4日発行 A4 128頁

平成21年度行事案内リーフレット

2009年3月発行 A4 2頁

入館状況

平成20年度 月別入館者数

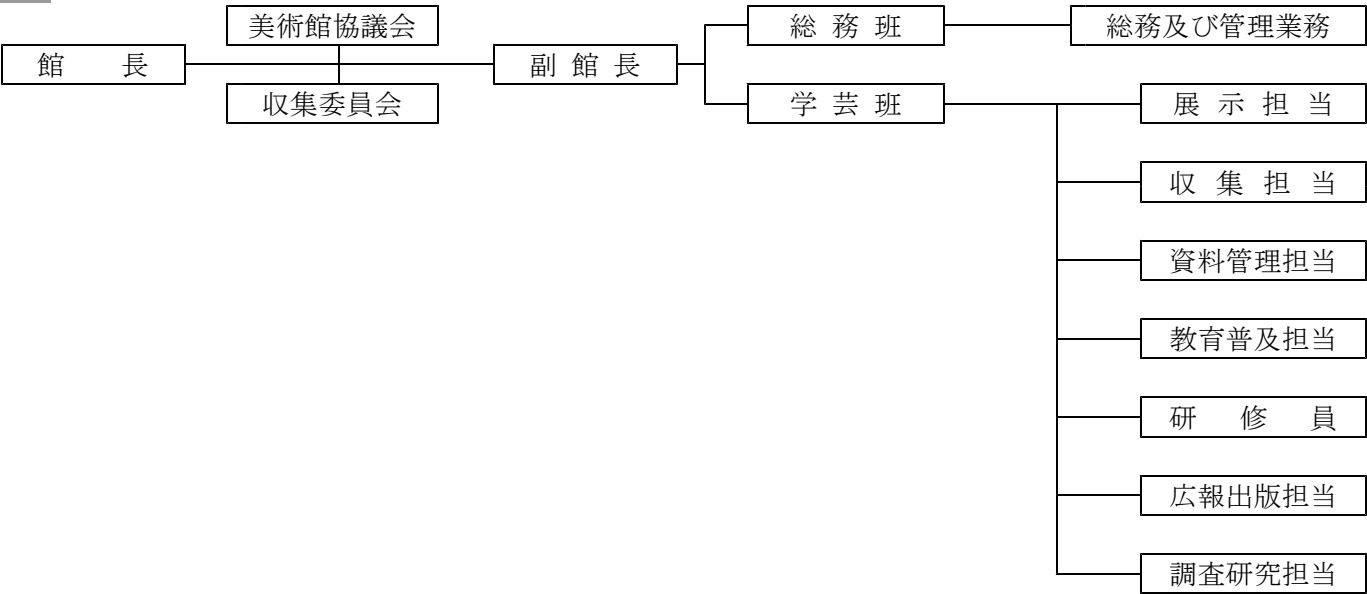
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数(人)	3,656	7,485	4,107	4,536	9,072	8,893	5,396	6,424	3,492	4,178	3,316	3,936	64,491

利用者数一覧表

事業別 区分			入館者	特別企画展入場者					企画展入場者			
				斎藤清	宮城県美術館	ヒソノグー	横山津恵	計	女流陶芸 ※ 3/8~	日本画の時代	福田豊四郎	計
開催期間			4/1 ~3/31	4/26 ~6/15	6/21 ~8/24	8/30 ~9/28	10/4 ~11/9		4/1 ~4/20	11/15 ~2/1	2/7 ~3/31	
日 数			352	51	65	30	37	183	20	66	53	139
利用者数(人)			64,491	6,883	4,029	5,468	4,132	20,512	1,323	7,098	6,740	15,161
1 日平均(人)			183	135	62	182	112	112	66	108	127	109
有 料	個 人	一般		1,839	1,509	811	1,218	5,377	708	0	0	708
		学生		50	14	0	0	64	14	0	0	14
		小・中		159	43	0	0	202	81	0	0	81
		シルバー		242	96	25	254	617	46	0	0	46
		身障一般		32	30	9	44	115	8	0	0	8
		身障学生		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		身障小中		0	1	0	0	1	0	0	0	0
	団 体	一般		393	474	118	277	1,262	119	0	0	119
		学生		192	42	0	0	234	12	0	0	12
		小・中		55	47	0	0	102	16	0	0	16
合 計				2,962	2,256	963	1,793	7,974	1,004	0	0	1,004

※7月22日より学生の入館料、企画展、常設展を無料化

組 織
組織図



職 員

名 誉 館 長	田 中 日 佐 夫	事 務 補 助 職 員	佐 藤 陽 子
館 長	河 野 元 昭	学 芸 補 助 職 員	阿 部 葵
副 館 長	麻 生 正 秋	解 説 員	今 野 裕 美 子
主任専門員(兼)班長	藤 原 康 悦		石 川 菜 穂 子
主 査	久 米 保 雄		高 橋 順 子
主 査	田 原 隆 雄		高 橋 裕 子
主 幹 (兼) 班 長	太 田 和 夫		鈴 木 聖 子
学 芸 主 事	沼 田 仁 子		佐 藤 幹 子
	檜 尾 康 丈 志		佐 藤 真 子
	山 本 丈 宏		佐 藤 未 歩
	小笠原 宏		川 津 扶 由 美
	木 村 雅 洋		佐 藤 晴 香 子
技 能 主 任	菊 地 信 夫		鈴 木 萩 子
研 修 員	栗 原 美 奈 子		

美術館協議会委員

会 長	三 橋 由 美 子
副 会 長	根 田 穂 美 子
	齋 藤 千 秋
	佐々木 眞 貴 子
	佐 藤 和 行
	菅 原 康 人
	福 岡 新 作
	前 田 成 志
	森 田 克 彦
	森 田 慶 子

通訳案内業
子どものアトリエ絵画教室主宰
(株)秋田ふるさと村総務課長
公募・主婦
横手市立旭小学校
秋田魁新報社文化部長
横手市教育委員会生涯学習課長
NHK秋田放送局長
自営業
自由美術協会会員

建築・設備概要

建築概要

建設地／秋田県横手市赤坂富ヶ沢 62-46
敷地面積／164,936.81 m²(秋田ふるさと村)
建築面積／2,947.32 m²
延床面積／11,166.50 m²
構造／鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
 地下1階 地上7階 PH1階
設計／株式会社 山下設計東北支社
監理／秋田県土木部営繕課・山下設計東北支社

施工

建築工事／大成・フジタ・三井・伊藤建設工事企業体
空調／ダイダン・山二建設工事共同企業体
電気／東光電気・伊藤電気建設工事共同企業体
給排水衛生／岡田水道施設工事(株)
受変電／羽後・伊藤電気建設工事共同企業体
弱電／千代田電気工業(株)
昇降機／三菱電機(株)

設備概要

●電気設備

受変電設備／受電電圧 3φ 3W 6.6KV 50Hz
設備容量 1,500KW
非常用発電設備／ディーゼル発電器(A重油)300KVA200V
蓄電池設備／非常照明・電源設備制御兼用 250Ah×1台
監視設備／中央監視装置：機能分散型DDC方式による集中監視制御
照明設備／蛍光管主体
 展示室照明：高演色性蛍光管(調光及び集中点滅制御方式) 外壁照明：無電極ランプ(パターン照明方式)
視聴装置設備／拡声放送・電気時計・身障者トイレ呼出表示・TV共聴研修室AV装置・ハイビジョンギャラリー4系統(110インチ背面投射型1台・60インチ背面投射型3台)ハイビジョンデータベースシステム1系統(32インチCRT1台)
防犯設備／防犯センサー・ITV装置
防災設備／自動火災装置・防排煙設備

●空調設備

熱源設備／吸収式冷温水発生機 2000RT×2台 LPG
 焚真空式温水ボイラー 80,000Kcal/H×1台
空調設備／ユニット型空調機(還風機組込型)×4台
 ユニット型空調機(全熱交換機組込一体型)×5台
 ファインコイルユニット天井カセット型×105台
 水冷式パッケージ型空調機×6台
 空冷式ヒートポンプ型パッケージ×3台
換気設備／第1種及び第3種換気方式
排煙設備／機械排煙及び自然排煙
自動制御設備／機能分散型
薫蒸設備／常圧手動式ユニット型 20 m³

●給排水衛生設備

給水設備／上水引込口径 75 mm 重力給水方式
 受水槽 24 m³ 高置水槽 6 m³
給湯設備／局所式(電気貯湯式)：各階湯沸室・宿直室ガス
排水設備／建物内：汚水・雑排水・雨水の各分流式
 建物外：生活排水はふるさと村施設全体の浄化槽へ導入

ガス設備／ふるさと村施設全体の集中LPG装置より供給
主に空調用熱源のエネルギー源として利用

消火設備／炭酸ガス消火・屋内消火栓

●エレベーター設備

乗用エレベーター	1150 kg	105 m/分	2 台
乗用エレベーター	1150 kg	90 m/分	1 台
荷物用エレベーター	3000 kg	45 m/分	1 台
小荷物用エレベーター	300 kg	30 m/分	1 台

●エスカレーター

展望エスカレーター	9000 人/時	30 m/分	1 分
-----------	----------	--------	-----

主な設備

5階展示室(4室) 983.10 m ²	収蔵庫(5室) 852.9 m ²
(1) 260.28 m ²	会議室 69.4 m ²
(2) 293.76 m ²	実習室・準備室 135.0 m ²
(3) 237.13 m ²	図書資料室 160.5 m ²
(4) 191.93 m ²	調査研究室 45.5 m ²
6階展示室(3室) 786.90 m ²	ハイビジョンギャラリー 241.9 m ²
(1) 255.96 m ²	研修室 226.7 m ²
(2) 293.76 m ²	展望レストラン 128.9 m ²
(3) 237.13 m ²	

関係法規

秋田ふるさと村条例（抜粋）

第1章 総 則
（設置）

第1条

秋田県の文化遺産を次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、及び観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、もって県民のゆとりのある文化的な生活の向上に寄与するため、秋田県ふるさと村（以下ふるさと村という）を横手市赤坂字富ヶ沢に設置する。

（業務）

第2条

ふるさと村は、次の表の上欄に掲げる施設の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる業務その他ふるさと村の設置の目的を達成するために必要な業務を行う。

施 設	業 務
秋田県立近代美術館	県にゆかりある作家の優れた美術作を中心に収集し、保管し、及び展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う。

第2章 近代美術館
（近代美術館）

第4条

秋田県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に規定する教育機関とする。

（職員）

第5条

近代美術館に事務職員その他の所要の職員を置く。
（近代美術館協議会）

第6条

近代美術館に博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第2項に規定する博物館協議会として、秋田県立近代美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2. 協議会は、委員10人以内で組織する。
- 3. 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（入館料等の徴収）

第7条

近代美術館の特別展示室（特別の企画に基づく展示を行う展示室をいう。以下同じ。）に入場する者から、別表第1に定めるところにより、入場料を徴収する。ただし、幼児、小学校児童、中学校及び高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生（これらの者に準ずる者を含む。）については、この限りではない。

2. 前項本文の規定にかかわらず、同項本文の入場料と合わせてスノーホワイト城又はかまくらシアターの利用料金を同時に納める者の入場料（定期券によるものを除く。）については、別表第1に定める範囲内において知事が別に定める。

3. 入場料は、特別展示室への入場の都度徴収する。ただし、定期券による入場料にあたっては、これを発行するときに徴収する。

（入場料の減免）

第8条

知事は特別の理由があると認めたときは、入場料を減免することができる。

（入場料等の不還付）

第9条

既に徴収した入場料は、還付しない。ただし、知事は、入場者の責めに帰することができない理由により特別展示室に入場することができなくなった場合その他特に必要があると認めた場合は、その一部又は全部を還付することができる。

（規則への委任）

第10条

この条例に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

この条例は、平成21年4月1日から施行する。

別表第1

特別展示室の入場料（第7条関係）

区 分	金額（一人につき）
普通料金	800円を超えない範囲内で知事が定める額
団体料金 （20人以上の団体）	720円を超えない範囲内で知事が定める額
定期券 （有効期間1年）	1,500円を超えない範囲内で知事が定める額

教育機関の管理及び運営に関する規則（抜粋）
（趣旨）

第1条

この規則は、学校以外の教育機関の管理及び運営の基本的事項を定めるものとする。

第8章の2 近代美術館
（開館時間）

第37条の2

秋田県立近代美術館（以下この章において「近代美術館」という。）の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、近代美術館の長（以下こ

の章において「館長」という。)は、必要があると認めるときは、当該時間を変更することができる。

(休館日)

第 37 条の 3

近代美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

1. 年始（1 月 1 日及び 1 月 2 日）
2. 年末（12 月 29 日から 12 月 31 日まで）

(資料の館外貸出し等)

第 37 条の 4

近代美術館の資料の館外貸出しを受け、又は特別利用しようとする者は、館長の定めるところにより、所要の手続きを経なければならない。

(準用)

第 37 条の 5

第 3 条第 2 項、第 7 条、第 8 条及び第 13 条の規定は、近代美術館にこれらを準用する。

附則

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

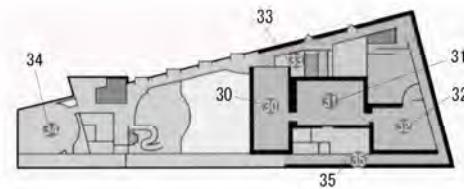
館内図

7F	36	展望ラウンジ	Sky Lounge
6F	35	スロープギャラリー	Slope Gallery
	34	研修室	Auditorium
	33	授乳室	Baby Room
	32	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	31	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	30	展示室(1)	Exhibition Gallery1
5F	29	ふれんどリーギャラリー	Friendly Gallery
	28	ハイビジョンギャラリー	Hi-Vision Gallery
	27	中央ホール	Main Hall
	26	展示室(4)	Exhibition Gallery4
	25	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	24	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	23	展示室(1)	Exhibition Gallery1
4F	22	電気室	Electric Room
	21	調査・研究室	Study Room
	20	館長室	Director's Room
	19	応接室	Lounge
	18	図書・資料室	Library
	17	事務室	Museum Office
3F	16	収蔵庫(5)	Storage Room5
	15	収蔵庫(4)	Storage Room4
	14	収蔵庫(3)	Storage Room3
2F	13	機械室	Machine Room
	12	収蔵庫(2)	Storage Room2
	11	収蔵庫(1)	Storage Room1
	10	暗室	Dark Room
	9	写真室	Photo Studio
1F	8	会議室	Conference Room
	7	実習室	Atelier
B1F	6	薫蒸室	Fumigation Room
	5	荷解室	Packing Room
	4	一時保管庫	Temporary Storage Room
	3	管理室	Guard Room
	2	インフォメーション	Information
	1	エントランスホール	Entrance Hall

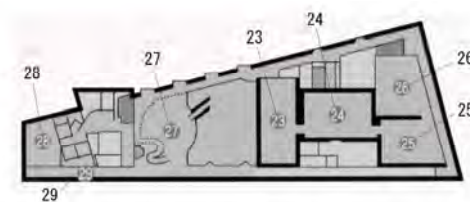
7F



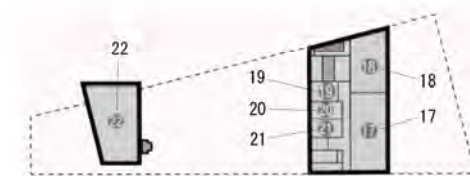
6F



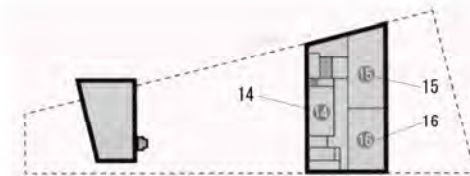
5F



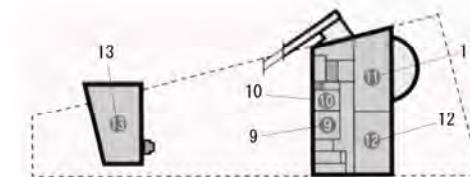
4F



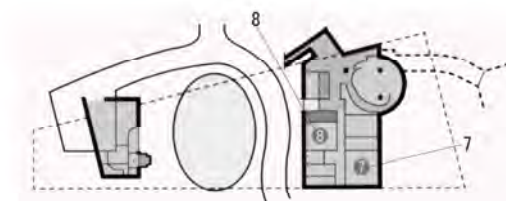
3F



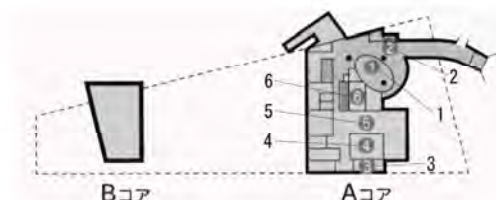
2F

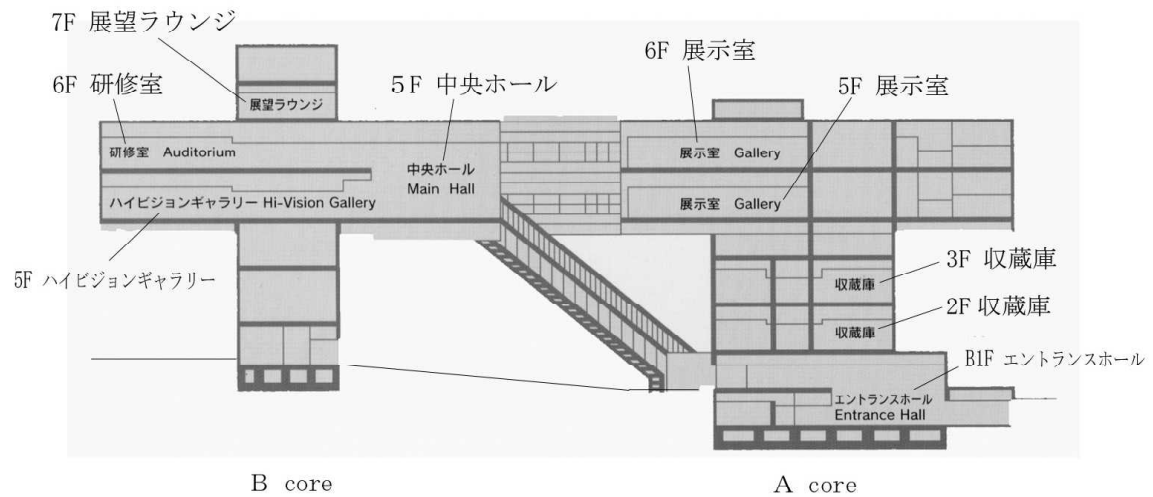


1F



B1F





- 1 エントランスホール
彫刻が並ぶアプローチギャラリーを抜けると大理石の壁に囲まれたエントランスホールが広がります。
- 2 エスカレーター 外の景色をながめながら、1 階から 5 階へと皆様をお連れします。
- 3 中央ホール 自然光一杯のアトリウムは展示スペースへの入り口です。正面にハイビジョンギャラリー、右へ進むと展示室へと続きます。
- 4 ハイビジョンギャラリー 美術館の所蔵品や国内外の名作を高精細度の画像で提供するスペースです。
- 5 展示室 5 階 4 部屋の企画展示室では、美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を特色あるテーマでご紹介します。また 6 階 3 部屋のコレクション展示室では、年 4 ～ 6 回の展示替えを行いながら、美術館の所蔵品を常時公開しています。
- 6 実習室 専門的な技法講座や基礎的な美術講座など、幅広い実技講座を行います。
- 7 研修室 充実した AV 機器を完備し、展覧会に合わせた講演会の開催や美術史講座など、多目的に活用できるスペースです。
- 8 収蔵庫 5 室からなる収蔵庫は、温湿度管理によって多くの作品保存・管理に対応できる機能をもっています。
- 9 野外展示スペース 自然の起伏を利用した緑の中の展示空間です。見るだけでなく、直に触れることで、より身近に作品を鑑賞していただけます。

利用案内

◆開館時間

午前 9 時 30 分～午後 5 時 00 分
(入館は午後 4 時 30 分まで)

◆無料公開日

- ・ こどもの日 ・ 県の記念日
- ・ 敬老の日 ・ 文化の日

◆休館日

2008 年度:12 月 29 日～31 日、2009 年 1 月 13 日～22 日
2009 年度:12 月 29 日～31 日、2009 年 1 月 12 日～21 日
(年末及びメンテナンス休館)

◆料 金

	一般	学生	小・中学生
企画展・コレクション展	無料	無料	無料
特別企画展開催時	800 円	無料	無料

※ 2008 年 7 月 22 日より

※ 団体(20 名以上)は 1 割引

教育課程に基づく学習活動として利用する児童・生徒・学生の引率者の入館料は免除されます。あらかじめ「観覧料免除申請書」を提出し、その承認を受けて下さい。

General Information

◆Museum hours

9:30a.m.～5:00p.m. (No entrance after 4:30p.m.)

◆Admission Fee

Children's Day
Memorial Day of Akita
Respect for the Aged Day
Culture Day

◆Closed

General Maintenance & Year-end Holidays

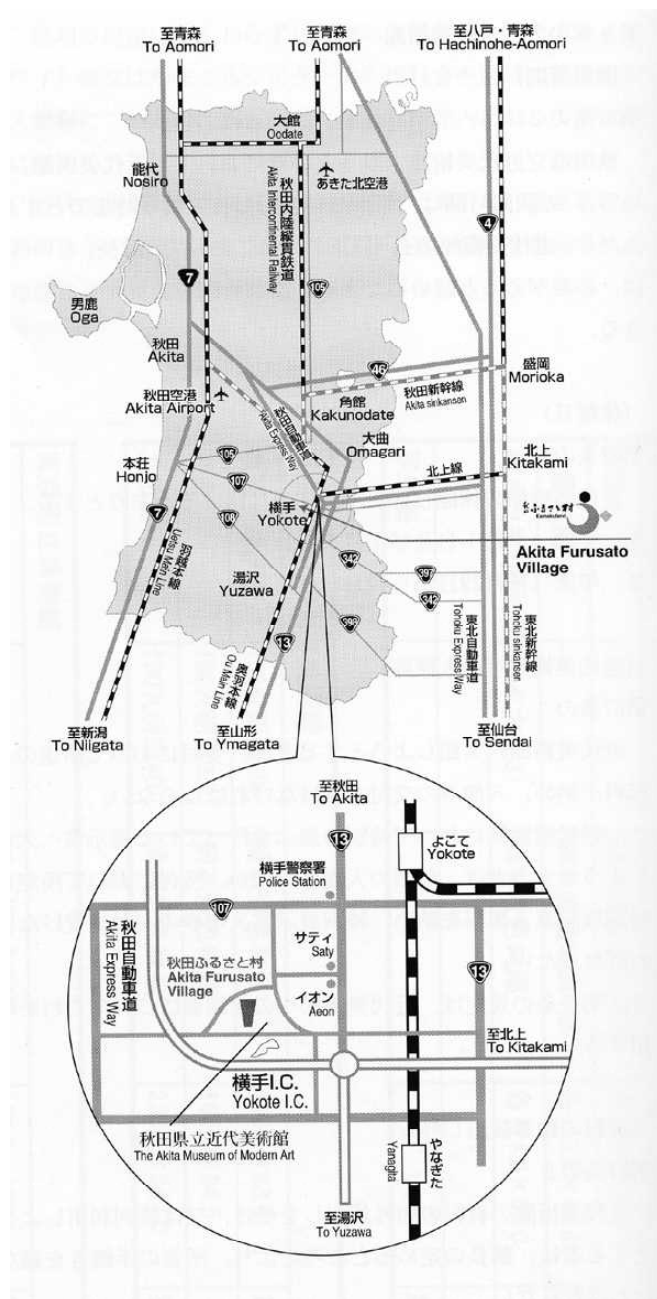
- ・ Dec.29-31, Jan.13-22/Fiscal 2008
- ・ Dec.29-31, Jan.12-21/Fiscal 2009

◆Admission Fee

	Adult	Student	Child
Permanent Exhibition	¥ 0	¥ 0	¥ 0
Special Exhibition	¥ 800	¥ 0	¥ 0

※ Parties of 20 or more persons are offered a discount of 10 % off the normal admission price.

交通案内 Transportation



1. シャトルバス利用の場合
JR 横手駅乗車 秋田ふるさと村下車
2. タクシー利用の場合
JR 横手駅から 15 分

1. Get off the train at JR Yokote station, then take the shuttle bus to "Akita-Furusato Village"
2. 15minutes by taxi from Yokote Station.

秋田県立近代美術館年報 2009 年 3 月製作

編集・発行 秋田県立近代美術館

〒 013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46

TEL.0182-33-8855 FAX.0182-33-8858

URL http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public_html/index.html

E-mail:akitamma @ rmac.ne.jp